

台灣から仙台に愛を送ろう！送愛到仙台

台南市青少年訪問團 臺南市青少年訪問團

報 告 書

主 催：公益財団法人 仙台観光国際協会

主辦單位：公益財團法人 仙台觀光國際協會



目次／目錄

ご挨拶／前言	
台南市／臺南市	1
仙台市／仙台市	2
3年間を振り返って／三年的回顧	
奇美集團／奇美集團	3
仙台・台南友好交流促進協會／仙台・臺南友好交流促進協會	4
公益財団法人仙台觀光國際協會／公益財團法人仙台觀光國際協會	5
台南市近郊地図／臺南市區域地圖	6
事業概要／事業概要	7
台南スタッフ・サポーターからのメッセージ ／來自臺南工作人員、Supporter 的訊息	11
各期代表のメッセージ／來自各期代表的訊息	21
団員名簿・日程表／團員名冊・日程表	25
写真アルバム／照片集	45
新聞記事／新聞報導	59

台南與仙台的同心協力



台南市長 賴 清德

在今年2月6日台南地震災害之後，再與仙台的朋友見面，心中感觸格外良多。此次0206地震造成台南建築物倒塌，人員重大傷亡。台南市直到現在持續收到來自日本各地源源不絕的慰問與捐款，深刻感受到彷彿震災就在日本的急切心情，包括仙台市在內的日本朋友的關懷溫暖著台南，我先在這裡致上最深的謝意。

311大地震至今五年了，其中由奇美企業集團支援的「送愛到仙台」青少年交換訪問活動共舉辦了9次，合計266人次的青少年交流。我相信豐富充實的教育文化交流能夠撫慰孩子的心靈，而兩地異國的學習也能開闊仙台青少年朋友的視野。更重要的是因為這些孩子的參與其中，台南與仙台兩市的情誼不間斷的累積，愈來愈深厚也愈來愈緊密。

台南市與仙台市都先後遭逢地震無常的災害，目前正在安置與重建的路上。患難見真情，友誼更珍貴，我相信仙台必有許多重建的經驗可以分享，也相信兩地彼此扶持，相互學習，必能並肩度過難關。

對於我們的下一代，讓他們知道災後重建的人性相互扶持，才是最好的教育。再次感謝仙台市對於台南市震災的慰問與幫助，也祝願兩地情誼長存。

台南と仙台の一心同体

台南市長 賴 清德

今年2月6日に起こった台南震災の後に再び仙台の友人と会うことができ、とても感慨深く思いました。

今回、0206地震で台南市内では建物の倒壊や市民の死傷など多くの被害を受けました。台南市は今も日本各地からお見舞いのご支援を絶えなく頂いています。まるで今回の災害を自分達のことのように感じてくださっている仙台市の皆さまも含め、日本の友人が我々を温かく見守ってくださっていることに、この場をお借りして心から御礼を申し上げます。3.11大震災から5年が経ちました。奇美財団からの支援による「仙台に愛を送る：送愛到仙台」青少年訪問団の活動には、全9回、合計266名の青少年が参加しました。この豊かで、充実した教育文化交流を通じて、仙台の青少年達の心を癒すことができ、また、異国での学習で視野も広がったと信じております。最も重要なのは、子供達が参加したことにより、台南市と仙台市の友情が重なり合い、より固く太い絆になったことです。台南市と仙台市は両市とも地震災害に遭遇し、現在は安らかな生活の再建と復興の道を歩んでいます。困難に直面したときこそ、真の友情が実証され、その大切さを実感します。仙台市から復興に関わる経験を沢山学び、また両市お互いに助け合い、学び合いながら、必ず共に困難を乗り越えることができると信じております。次世代に対して、災害の復興における人類の助け合いについて伝えていくことは最も大切な教育だと思います。

あらためて、仙台市から台南市への震災後のお見舞いのご支援に感謝するとともに、両市の友情が長く続きますように心からお祈り申し上げます。

台南市青少年訪問團事業に寄せて

仙台市長 奥山 恵美子



許文龍会長を始め、奇美グループの皆さんからのご支援と、台南市の皆さんのご協力によって実現した台南市青少年交流事業に、仙台市から266名の高校生・大学生が参加させていただくことができました。未来を担う青少年を対象に3年間に及ぶ震災支援事業を企画し実行してくださった関係者の皆さま、本当にありがとうございます。また、この事業の実現に向けて、震災後、奇美グループと仙台国際交流協会（現・仙台観光国際協会）との新しい縁が生まれ、熱心な打合せを繰り返しながら素晴らしい交流プログラムを練り上げてくれました。スタッフの皆さん、ご苦労さまでした。そして何よりも、毎回、定員をはるかに超える高校生・大学生の皆さんがこのプログラムに応募してくださったことを、私自身とても嬉しく感じていました。震災後、途方に暮れることも少なくなかった日々の中で、世界に目を向けて果敢にチャレンジをする皆さんの姿が仙台の街に元気を与えてくれたように思います。

今年、仙台市と台南市は交流促進協定締結10周年を迎えました。これからも東日本大震災後にいただいた力強いご支援に対する感謝の気持ちを決して忘れることなく、訪問団に参加された皆さんと一緒に仙台市と台南市との友情と交流の絆を深めて行きたいと思っています。心温まる震災支援として行われた台南市青少年訪問團事業に関わっていただいたすべての皆さまに、改めて心からの感謝を申し上げます。

對於臺南市青少年訪問團活動的感想

仙台市長 奥山 恵美子

因許文龍會長、奇美集團各位的支援及台南市民眾的協力而實現的臺南市青少年交流活動，讓仙台市266位的高中生、大學生去參加了此項活動。非常感謝企劃以這些對未來要擔起責任的青少年們為對象，實施了三年支援震災活動的相關人員。另外對於要實施這個活動，震災後，奇美集團及仙台國際交流協會（現在的仙台觀光國際協會）產生了新的緣分，在熱心地重複的進行許多次的討論之後，製作了一個非常美好的交流方案。各位負責人員辛苦了。

每次都有超過募集人數的高中生、大學生來報名這項活動，比什麼都讓我自己感到非常的高興。我認為在震災後許多正不知何去何從之中，是這些把眼光轉到世界，有勇敢挑戰精神的年輕人們，讓仙台的街上充滿了朝氣。

今年將迎接仙台市及臺南市締結交流促進協定十周年慶。今後也絕對不會忘記，對於東日本大震災後給我們強而有力的支援之感謝心意，並且希望與參加訪問團的團員們一起努力促進仙台市與臺南市的友誼以及更深厚的交流聯繫。

對於當為震災支援事業的臺南市青少年訪問團活動相關的所有工作人員們，再度的致上由衷的感謝之意。

台灣和日本 永遠的好朋友



奇美集團
總經理 林 榮俊

「送愛到仙台」計畫的目的是希望透過旅遊治療方式，協助仙台的青年能夠走出災後的悲情，也能藉此增加台日雙方民間之交流，經過計畫期間 3 年共九梯次的具體實踐之後，確實達到最初設定的目標。活動期間日本學子至台灣的偏遠山區與原住民互動，至台灣家庭 Homestay 一晚、或是參訪各景點時，其實都可以深深感受台灣人對日本人發自內心的友善，在 311 大地震後，世界各地紛紛以捐款方式希望協助災區重建，但對我來說反而更希望透過「送愛到仙台」這計畫，對仙台市民有更特別的意義。

這計畫雖然暫時畫下句點，但這個計畫的執行模式已趨近成熟，我一直再思考如何讓這麼有意義的活動延續下去，讓台日雙方的交流更加熱絡。

每梯次執行期間，我看著台灣與日本學子之間的互動，其實很感動，因為他們不吝於分享學校生活、民情風俗給彼此，尤其計畫結束後，他們也會相約在日本或台灣聚會，或是去日本或來台灣留學，熱絡的交流我想是本計畫意外但也是最大的收穫之一，希望台日學生能夠成為永遠的朋友，並也可以將各自國家的美好，分享給身邊的人，讓這份感染力發酵，讓日本與台灣也能成為永遠的朋友！

台湾と日本 永遠の良き友人

奇美集團
總經理 林 榮俊

「送愛到仙台」プロジェクトの目的は、旅を通して、仙台の青年達に震災後の悲しみを乗り越えてもらうことでしたが、台湾と日本の民間交流を増やす機会にもなりました。3年間で9回実施し、当初の目標を達成することができました。活動期間中、日本の学生達は、台湾の先住民との交流、ホームステイ、観光などを通じ、台湾人の友好の気持ちを深く感じ取ることができたでしょう。東日本大震災後、世界中が募金を通して日本を支援しましたが、このプロジェクトはさらに特別な意義のあるものだったと思っています。

活動は終わりましたが、このプロジェクトの実行モデルは形になりつつあります。いかにこうした意義ある活動を続け、台湾と日本の交流を深めていくか、あらためて考えています。私は毎回、台湾と日本の学生達のやりとりを目にし、実に感動しました。彼らは学校生活や文化を共有し、活動後も日本や台湾で会う約束をしたり、留学したりしています。こうした交流は計画外でしたが、大きな収穫の一つといえます。彼らが永遠の友人となり、互いの国のことを周りの人にも伝え、その絆を強めて台湾と日本も永遠の友人となるよう願っています！

台南と仙台の友好の絆



仙台・台南友好交流促進協会
会長 飯岡 智

仙台と台南の交流が七夕祭りを伝統行事として開催している都市という共通点がきっかけで2001年に始まりました。仙台の七夕飾りを台南市に持ち込んで一晩掛かって飾り付けをして台南市民の方々に見ていただき交流がスタートしたことを思い出します。私たち民間人と仙台市の行政としての交流も同時に始まりお互い1年ごとに訪問し合うことになりました。今年で16年を迎えることになりました。

地道に交流を重ねて、2006年に仙台市と台南市が交流促進協定を結びさらなる絆を官民一体となり深めてきました。

交流を始めてから、仙台・台北の直行便の開設、台湾新幹線の開通など多くの出来事がありました。そして東日本大震災に、台南との長年の交流があったことにより仙台市に台南市民から多額の寄付金が寄せられました。このようなお付き合いの中で、仙台市の青少年を台南に300名招待して下さるというプログラムの提案を頂き、3年間に亘って若者たちが交流をすることが出来多くの成果を上げることができました。

今後とも、民間と行政が共に両輪となって、これまで培った絆を大切に、次世代に引き継ぐことが出来るよう力を尽くしていきたいと思えます。

臺南跟仙台友好的羈絆

仙台・臺南友好交流促進協會
會長 飯岡 智

仙台跟臺南的交流是因為兩個城市都有舉辦七夕祭典這個傳統活動之共通點為契機，在2001年開始了交流活動。想起了當時帶著仙台七夕裝飾到臺南市，花了整整一個晚上吊七夕裝飾，一心讓臺南市民觀賞，是這個交流的開始。我們民間人和仙台市以市政做交流同時開始，約定隔年互訪，今年將迎接第16個年頭了。

經過密實的交流，在2006年仙台市跟臺南市締結了交流促進協定之後，官民一體，更加深了互相的羈絆。

交流開始之後，仙台・臺北直航的開設，臺灣高鐵的開通等有許多新的轉變。之後發生了東日本大震災，因為跟臺南市有長年來的交流，臺南市市民捐給仙台市許多的善款。在這種交流中，也有招待300位仙台市青少年到臺南的策畫案，因有為期3年年輕人的交流，而有許多成果出現。

今後民間跟行政將成為兩個圈，珍惜到目前為止培育起來的羈絆，我們期望可以盡心盡力的把這樣的羈絆傳承給下一個世代。

台南と仙台、台湾と日本をつなぐ友情のかけ橋



公益財団法人 仙台観光国際協会
理事長 渡邊 晃

東日本大震災の直後、台南市では「送愛到仙台～仙台に愛を送ろう」の名のもとに活発な募金活動が行われ、大きな支援が仙台市に寄せられました。それと同時に、台南市に本拠地を置く奇美集団がスポンサーとなって仙台の青少年を台南市へ招待するプロジェクトが生まれ、全9回268名の学生が青少年訪問団として海を渡り、台湾の歴史や文化に触れるとともに、台湾の人々と深く交流しました。2015年8月には、滞在中お世話になった台湾人学生サポーター14名を第10回目の訪問団としてお招きし、仙台滞在を楽しんでいただくとともに、仙台七夕まつりの期間に「台南PRブース」を出展し、仙台市民や七夕まつりに訪れた観光客に台南市と本プロジェクトを紹介していただきました。

青少年訪問団員の中には、このプロジェクトをきっかけに、新たな目標を見つけ、活動の場を広げている学生も数多く、まさに「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る確かな支援」として生まれたプロジェクトの目的が達成されつつあります。3年半に及ぶ交流事業には、奇美集団、台南市、財団法人樹谷文化基金会はもとより、多くの皆様のご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

連結臺南跟仙台 臺灣跟日本的友誼之橋樑

公益財團法人 仙台観光国際協會
理事長 渡邊 晃

東日本大震災後馬上臺南市就以「送愛到仙台～仙台に愛を送ろう」之名辦了一個很活躍的募款活動，給仙台市送來了非常大的支援。同時，本公司設在臺南市的奇美財團成了支援者，提出了一個招待仙台市青少年到臺南市的策畫案，總共9梯次，有268名學生以青少年訪問團的成員身分越洋去了解臺灣的歷史及文化的同時，也跟臺灣人做了深度的交流。2015年8月以第十次訪問團的名義，招待了訪問時給我們支援及照顧的臺灣人學生14名，快樂的渡過了在仙台停留時光的同時，在仙台七夕祭典的期間，推出了「臺南宣傳展攤」，對仙台市民及來參加七夕祭典的觀光客們介紹了臺南市及本次的策畫案。

這個策畫案成為一個企機，青少年訪問團員中，因此找到新的目標，拓展了活動場所的學生為數很多，正是「培育擔起復興事業人才，是真正可以勝過經濟支援的最實在的支援」的這個策畫案之目的，正慢慢地達成。長達3年半的交流事業裡，原本給予支援的奇美財團、臺南市、財團法人樹谷文化基金會，還有許多的人們給我們幫助，藉此致上我們由衷的感謝。

□台南市

台湾の古都。オランダ人支配の後、明の鄭成功支配時代や清王朝時代は台湾の首府となり、政治・経済・文化の中心地でした。その後、日本の占領統治時代を経て、現在は、台湾第4の都市となっています。人口は、約188万6千人(2015年12月現在)。

仙台市とは、七夕を通じた市民交流の高まりを契機に2006年1月20日に交流促進協定を締結し、活発な市民交流が行われています。



主な訪問先

訪問先は実施時期により多少異なります。なお、先住民の村には、訪問を行った期を数字で付しました。

事業概要

事業の経緯

東日本大震災の後、仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台南市では、活発な募金活動が行われるとともに、台南市政府と台湾屈指の大企業である奇美企業及び樹谷文化基金会在が協力し、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、「愛を仙台に送る計画＝送愛到仙台」プロジェクトが計画されました。このプロジェクトには、仙台の青少年に台湾の古都である美しい台南を訪れて傷ついた心を癒し、困難や復興に立ち向かう力を蓄えてもらいたい、という台南の人々の願いが込められていました。また、現地では、日本語を学ぶ台湾の学生が全日程に参加し、互いの言語・文化交流を図るとともに、日本と台湾の相互理解、仙台市と台南市のさらなる交流の活性化に向けて、計画はスタートしました。

台南市と仙台市について（仙台市ホームページより）

【提携動機】

仙台市と台南市の間では、従来から「七夕祭り」を縁とした市民レベルでの相互交流が行われてきましたが、そうした交流の高まりを契機とし、両地域の市民や産業界が、観光、経済、産業、福祉、文化及びスポーツ分野のそれぞれで交流することを促すため、「観光、経済、産業、福祉、文化及びスポーツ分野の交流促進協定」を締結しました。

仙台国際交流協会について

仙台国際交流協会は、仙台市の歴史・文化等の地域的特性を生かして、地域の国際化を推進するために仙台市が平成 2 年に設立した財団法人です。市民団体やボランティアとの協働により、仙台で暮らす外国人市民支援や国際交流・国際理解を通じた青少年育成等の事業を行っています。平成 25 年 4 月に公益法人移行。平成 27 年 4 月に、仙台観光コンベンション協会と統合し、公益財団法人仙台観光国際協会となりました。

台南市について（仙台市ホームページより）

台北から台湾高速鉄道で約 1 時間 45 分、台湾海峡に面する台湾南西部の都市。亜熱帯気候に属し多様な自然環境に恵まれていることから、レジャー設備を整えた観光都市として発展している。また、台湾で最も長い歴史を持ち、多くの史跡を残す台湾の古都として有名である。2010 年（平成 22 年）12 月 25 日に台南県と合併し、人口 188 万人の直轄市に昇格した。

実施概要

- 1 目的 仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災で受けた支援への感謝や現在の仙台の現状を伝える機会とする。
- 2 訪問先 台湾 台南市および近郊
- 3 実施時期 2012年2月～2015年3月
- 4 主催 公益財団法人 仙台国際交流協会（開始当時は財団法人）
- 5 協力 仙台市
- 6 後援 仙・台友好交流促進協会
- 7 参加人数 青少年 30名程度及び同行職員（仙台国際交流協会）
- 8 募集対象 ①仙台市内にお住まいか通勤・通学する学生
②心身ともに健康であること
③国際交流、異文化理解に関心があり、ツアーの趣旨を理解し、団体行動に参加可能であること。
④定められた日程・旅行条件で参加できること。
⑤事前・事後研修（全5回程度）に参加できること。
⑥20歳未満の場合は、保護者の承諾を得られること。
- 9 事前研修 3回
- 10 事後研修 2回

訪問団参加者について

★参加延べ人数 266名

内訳：

回（主な参加者）	男性	女性	合計	サポーター	同行職員
第1回（大学生）	6	24	30	0	4
第2回（高校生）	4	24	28	2	2
第3回（大学生）	6	22	28	2	2
第4回（大学生）	8	21	29	2	2
第5回（大学生）	10	16	26	0	2
第6回（高校生）	3	23	26	2	2
第7回（大学生）	8	23	31	0	2
第8回（大学生）	9	22	31	0	2
第9回（高校生）	6	21	27	2	2
	60	196	256	10	20

事業概要

事業的由來

東日本大震災之後，與仙台市締結友好交流促進協定的臺南市，積極地舉辦募款活動，同時臺南市政府和臺灣數一數二的大企業奇美集團與樹谷文化基金會本著「培養承擔復興的人才更確實的支援，勝於只有經濟的支援」的想法，共同發起「送愛到仙台」的計畫。在這個計畫中，仙台的青少年們造訪臺灣的古都—美麗的臺南，撫慰受創的心靈，在臺南市民們鼓勵之下，找回面對困難並儲備重建家園的力量。而且，在臺南當地，學習日語的臺灣學生全程參與活動，透過彼此語言及文化交流的同時，加深了臺灣與日本的互相了解，期待臺南市與仙台市今後的交流能更加活躍，而開始了這項計畫。

關於臺南市與仙台市（資訊來自仙台市政府網站）

【合作動機】

仙台市與臺南市之間，從以前就因「七夕祭」而結緣，進行了許多民間交流，為了讓這樣的交流更深厚，以此為契機，兩市的民間及產業界在促進觀光、經濟、產業、福祉、文化和體育等各領域的交流目標下，締結了「觀光、經濟、產業、福祉、文化和體育的交流促進協定」。

關於仙台國際交流協會

仙台國際交流協會是為了發揚仙台市的歷史、文化等地方特色，並推廣地區的國際化而設立的財團法人組織。在市民團體及志工們的協助之下，開展了居住在仙台的外國人市民的支援活動、透過國際交流・國際理解來進行的青少年育成計劃等的業務。平成25年（西元2013年）4月改為公益法人組織。平成27年（西元2015年）4月，與仙台觀光推進協會合併，改名公益財團法人仙台觀光國際協會。

關於臺南市（資訊來自仙台市政府網站）

從臺北搭乘臺灣高鐵約1小時45分鐘，位於臺灣海峽側臺灣西南部的都市。屬於亞熱帶型氣候，有著得天獨厚的豐富自然環境，發展成休閒產業完善的觀光型都市。並且擁有臺灣最悠久的歷史背景，保留許多古蹟，是臺灣有名的古都。2010年（平成22年）12月25日與臺南縣合併，升格成為人口188萬人的直轄市。

實施概要

- 1 目的 選派青少年前往與仙台市締結交流促進協定的臺南市，透過與當地青少年交流、臺南市區參觀遊覽、日本文化介紹等活動，提供深入了解異國文化的機會。並且也是表達對於震災支援的感謝之意，以及傳達仙台現狀的機會。
- 2 訪問地區 臺灣 臺南市及其近郊
- 3 實施時期 2012年2月～2015年3月
- 4 主辦單位 公益財團法人 仙台國際交流協會（計畫開始時為財團法人）
- 5 協辦單位 仙台市
- 6 支援單位 仙・台友好交流促進協會
- 7 參加人數 青少年30名左右及同行職員（仙台國際交流協會）
- 8 募集對象 ①居住在仙台市內或在仙台市工作、就學的學生
②身心健康
③關心國際交流和異國文化的相互理解，了解旅程的意旨，並能參與團體行動
④在規定的日期及旅行條件下可以參加活動者
⑤能參加事前和事後研修（全部5次左右）
⑥未滿20歲的話，需要監護人的同意
- 9 事前研修 3次
- 10 事後研修 2次

關於訪問團參加者

★參加人數總計 266名

詳細：

回（主要參加者）	男性	女性	合計	Supporter	同行職員
第1回（大學生）	6	24	30	0	4
第2回（高中生）	4	24	28	2	2
第3回（大學生）	6	22	28	2	2
第4回（大學生）	8	21	29	2	2
第5回（大學生）	10	16	26	0	2
第6回（高中生）	3	23	26	2	2
第7回（大學生）	8	23	31	0	2
第8回（大學生）	9	22	31	0	2
第9回（高中生）	6	21	27	2	2
	60	196	256	10	20

台湾スタッフ・サポーターからのメッセージ

來自臺南工作人員、Supporter 的訊息



2011年からの長い準備期間を経て、2012年2月に第1期がスタートし、いつの間にか5年が過ぎて10期を数えるに至りました。当初は仕事と考えて取り組んでいましたが、始まってからは単に仕事ということだけではなく、私にとって特別なものとなりました。よく知っている土地で、とても熱心な学生達と一緒に異国から来た友人達を連れ、太陽の下で大笑いしたり、駆け回ったり… あらゆることが、私の脳裏に焼きついて離れません。活動が終わり、それぞれが自分達の日常生活に戻りましたが、時が経ち距離が離れても、あの時の友情が途切れることはないと思っています。ここ数年、多くの日本人が台湾に旅行に訪れ、「台湾と台湾人が好きになった」と語学を学びに来る人もいます。彼らは台湾にいる時はいつも台湾の学生と外出し、台湾の学生が旅行や留学で日本を訪れた時も、台湾の学生は日本の学生と行動していて、とても感動します。この活動の成功は、決して日程内容からくるものではなく、「人」だと思っています。人と人との密接な、素晴らしい付き合いこそが、最も忘れがたく、続いていくものだからです。

從 2011 年開始，在經過很長一段時間的發酵與籌備，終於在 2012 年 2 月執行第一梯次，就這樣不知不覺經過了五年，共執行了 10 梯次。原本以為它就是一個工作的執行，但在執行後，它不再只是工作，而是我的一段特別旅程。在我熟悉的土地上，跟著一群熱心無比的台灣學生，一起帶著一群來自異國的朋友們，一起曬太陽、大笑、奔跑…，所有平凡無奇的事情，它就那麼一點一滴的烙印在我的腦裡、心裡，揮之不去。雖然在活動結束後，每個人都回到各自的生活軌道，但我相信那段友誼是不會隨著時間與距離間斷的。這幾年看到許多日本人回到台灣來旅行，甚至來到台灣讀書學中文，因為他們說「愛上台灣還有台灣人了」，而且他們在臺灣時，也總是有台灣學生陪伴出遊；此外，台灣的學生到日本旅行或留學，也總是有日本學生的陪伴，實在覺得很感動。我想能促使這個活動成功的原因，絕非來自行程內容，而是來自「人」，因為人與人密切、美好的相處所產生的感情，才是最難忘的，也是最能延續的。(1~9 徐香華)

深く印象に残っているのは、ボランティア活動で啓智センター（障害者施設）を訪れた時のことです。障害のある方達と触れ合い、一部の方は重い障害を持っていましたが、多くの日本の学生と台湾のボランティアは初めて接するにもかかわらず、物怖じするどころか、心を開いて彼らを受け入れ、やりとりしていました。彼らの頑張り、活力、勇気に深く感銘を受けました。このプログラムに参加する前は、実をいうと日本文化にはあまり関心がなかったのですが、初めて日本の学生達と1週間過ごした後は、日本に好奇心を抱くようになりました。活動期間中は言葉が通じず、ジェスチャーや英語を交えて表現するしかありませんでしたが、また違った楽しさや情感がありました。特にお別れ交流会の時は名残惜しく、今なお深く脳裏に焼き付いています。日本の学生達は帰国後、フェイスブック上に次々と「台湾（台南）が好きになった」と書き込んでくれていますが、私も日本（仙台）が好きになりましたし、たくさん日本の友人ができてとても嬉しいと伝えたいです(笑)。



讓我印象深刻的是在志工服務(PR)方面，我們會到啟智中心，接觸身心缺陷的民眾，部份身心障礙人士不管是動作或情緒都較大，但其實很多日本學生與台灣志工，都是第一次接觸身心障礙族群，他們並不會排斥或恐懼，反而敞開心房的融入他們的互動。他們的拼勁、活力與勇氣，也深深感染了我。未參與計畫之前，其實對日本文化是無感的，但在第一次參與和日本學生短暫的7天相處後，卻讓我開啟了對日本的好奇心。活動期間雖然語言不通，只能用比手劃腳加上零落的英文表達，卻也激盪出不一樣的樂趣與情感，尤其惜別會時那種感傷及不捨的氛圍，迄今仍深刻烙印在腦海中，日本學生回國後紛紛在臉書表示「已經愛上台灣(台南)」，我想說的是我也愛上日本(仙台)，很開心我多了許多日本的朋友了(笑)。(5~9 陳秋廷)



第一期と第十期の「送愛到仙台」プロジェクトに参加していただき本当にありがとうございます。とても貴重で楽しい経験だと思います。いろんな人々との出会いに感謝、仙台もとても好きなところになってきました。また仙台行きたい！仙台大好き！このプロジェクトのきっかけ、私も国際交流の意味がわかってきました。それは違う国の人と人が心からお互いに関心をもって理解を深めると思います。この前台湾が爆発や地震が発生した時にも、日本と仙台からいろんな支援と義捐金をいただき、日本の友達にも心配してくれて、本当にありがとうございます。これからも自分なりに国境を越えて、日本と台湾との暖かい交流を続けていきたいです！台湾の人にも日本と仙台のことをもっと知ってもらいたいです。(1期 黃楷婷)

第一期と第十期の「送愛到仙台」プロジェクトに参加していただき本当にありがとうございます。とても貴重で楽しい経験だと思います。いろんな人々との出会いに感謝、仙台もとても好きなところになってきました。また仙台行きたい！仙台大好き！このプロジェクトのきっかけ、私も国際交流の意味がわかってきました。それは違う国の人と人が心からお互いに関心をもって理解を深めると思います。この前台湾が爆発や地震が発生した時にも、日本と仙台からいろんな支援と義捐金をいただき、日本の友達にも心配してくれて、本当にありがとうございます。これからも自分なりに国境を越えて、日本と台湾との暖かい交流を続けていきたいです！台湾の人にも日本と仙台のことをもっと知ってもらいたいです。



非常感謝有機會能參加第一期跟第十期的「送愛到仙台」活動計畫，對我來說這真的是非常難能可貴且美好經驗。很開心因為這個計畫認識了很多的朋友，仙台也變成了我非常喜歡的一個地方，之後如果有機會的話也還想再去仙台。而我也因為這個活動才真正了解了國際交流的意義，我想那就是不同國家的人們彼此真誠關心，並加深對彼此的了解。也很感謝先前在台灣發生塵爆及地震時，日本跟仙台都給了台灣許多方面的支援跟捐款，我也收到了許多來自日本朋友的慰問與關心。之後我也會持續延續台灣跟日本的溫暖交流，也希望可以讓更多的台灣人認識日本及仙台！（1期 黃楷婷）



私のガイトを真面目に聞いてくれてる顔、匂いがダメでも臭豆腐にチャレンジしてる顔、そしてみんなの笑顔が忘れられません。送愛到仙台でみんなと出会えたことや、台湾のことを紹介し一緒に台湾を体験できたこと。こんな経験は二度とない貴重な一週間でした。このイベントに参加できた私達で日台の絆を深め、交流を築けるよう心掛けましょう。(1~4期 許瑞英)

四期を参加して、六期、七期と九期に手伝って、それに十期も参加できることも、心から感謝します。皆で色々な思い出ができたが、一番印象が深いのはやはり、仙台空港から出て、仙台の空気を吸ったその瞬間です。仙台の友達は何人できたが、ついに皆が暮らしてる町に着いて、同じ空の下に、同じ空気を抱かれました。皆のおかげで、私の大学時代に面白くて、キラキラな一ページを作りました。皆のこれからの人生は幸せように、心から祈ります。何があっても、カニはいつもあなたの味方です $\geq[\nabla^{\circ}] \leq$ 。また仙台に行くために一生懸命お金貯めます(∇ ')/ 本当にありがとう！またねー (4,9 李佳穎)



最初空港で会った皆さんの表情と最後見送りの時の皆さんの表情の変化、訪問団が終わって今でも仲良くしているのは私にとって一番大切にしている思い出、気持ちなのです。毎回の出会いで想像以上の良い友達ができ、普通だった私には大変幸せです。200人ほどの友達ができ私は、一人一人とこれからも仲良くしていきたいと思います!そして実際に台日交流を深くしたお陰で、自分の国のことをもっと愛し、もっと台湾の良さを皆さんに紹介したい気持ちがしています。

我最難忘也最珍惜的是，最初在機場見到的大家的表情與最後送機時每個人表情的變化；即使訪問團結束了，我們感情依舊。對平凡的我來說，能夠交到這麼多想都沒想過的好朋友，真的很幸福。認識將近兩百位的朋友，我想與每一個人都好好相處下去。最後，正因進行了深刻的國際交流，讓我更瞭解台灣、想將台灣的事物傳達給更多人知道！(5~9 吳柏霖)

皆、お元気ですか。4班サポーターの朝子です。2年ぐらいお久しぶりですけど、4班の皆もきっと自分の夢とか理想とかなどを頑張ってるでしょう。あまり会えなくても、皆との見えない絆がずっと私たちを繋がってます。2年前泣いたり、笑ったりした記憶はまだ心のフラッシュメモリーに保存します。たまには皆からのちょっとしたメッセージをもらって、心はポカポカになります。皆にとっていいサポーターとは言えませんが、実は皆の背中を押したくて、精神的に支えたいです。将来いつか皆との再会を楽しみにしています。お互いに頑張りましょう!!



每個不同的體驗都只有一扇小窗，而每扇窗在人生不同階段都很有價值也很珍貴，送愛到仙台對我來說，是一扇牛眼窗，雖說窗口不大且機能性不強，但以建築美學整體來說裝飾意義極為重大。而那扇牛眼窗其實也打開了我的視野，不只有機會深入了解原住民生活及共襄盛舉，另外不論是歷史悠久的劍獅古蹟街道、餘音繚繞的高聳山脈部落、色香味俱全遍布各地的夜市，抑或是最為人稱道的的人情味，都是台灣

人永遠的依戀。這扇窗的美景並不是我一人獨享，反而很榮幸一路上志同道合的日本朋友一起聽見台灣的心跳聲，或許不是唯一的回憶，卻是絕無僅有的記憶。被丟進海裡、喝酒熬夜、鬼壓床、學種田灑肥料等，都隨著時光膠囊埋進我心裡，十年後我們可能在路上擦肩而過，仍無法認出對方，那也沒關係，至少我還可以把回憶醃製起來風乾，懷念的時候下酒。(5期 陳昱如)



こんにちは、五期3班サポーターのブンブンです。このイベントに参加してから丸2年が経ちました。このイベントに参加したお陰で、仙台の皆さんとサポーターの皆さん、このイベントを主催した方々と一緒に台南と台湾の歴史や名産、文化を味わったり、いい思い出を作ったりして頂きました。それだけではなく、イベントが終わっても、サポーターのみんなが日本に行った時にも仙台の皆さんが台湾に来た時にも、いつも一緒に遊んでいて、また、台湾に大きな被害があった時に、いつも募金活動をしてくださって、こんな良い関係は、このイベントに対して一番大事なことでないでしょうか。本当にありがとうございます。これからも、サポーターの皆さんと仙台の皆さん、台南と仙台、台湾と日本、こんな良い関係を大事にして続けましょう！！

大家好，我是第五期3班的BUNBUN，參加這個活動以來，已經過了兩年。透過這個活動，能在短短的一個禮拜與仙台的各位，以及台灣的各位夥伴一同了解台南和台灣的歷史文物、名產、文化，有一同的製造出美好的回憶，真的令我很開心。並且在活動之後，當台灣的各位前往日本旅遊、或者仙台的各位來台灣旅遊時，我們都還是會一起見面出去玩；甚至當台灣有任何的災害發生時，仙台的各位都會立即為我們舉辦募款的活動，這種彼此重視的關係真的是很難能可貴的。希望在將來，我們彼此的關係，不論是仙台各位和台灣SUPPORTER的關係、台南和仙台的關係、台灣和日本的關係都能持續地延續下去。謝謝

(5期 侯于雯)

五期のサポーターとして参加させて頂きました。もう二年前のことですが、今でもとても懐かしく愛おしく思います。最初は同じ班のメンバーに最高のおもてなしをしようと思ったけど、間違っって男子トイレに入ったり、道迷ったりして、逆にメンバーたちに色々気遣いしてくれました。立派なサポーターではないかもしれませんが、皆さんと出会うことを心から感謝しています。ずっと素敵な思い出を共有できる最高の仲間です。サポーターたち、メンバーたち、Sentiaのみなさん、奇美のみなさん、本当にありがとうございます。最後に、台南大震災の募金活動ありがとうございます。台湾と日本、そして仙台と台南の絆がずっと続きますように。(5期 葉乃萱)



初めまして、第五期のサポーター林忠宏と申します。時間が早いですね、第五期の「送愛到仙台」が終わり、あっという間に2年間が経ちました。ここで再び出会った皆さんに感謝しております。自分の小さな能力を活せるチャンスをいただき、台湾と日本の交流を促すことに力になり、嬉しかったです。この活動を参加することで自分のグループのメンバーだけでなく、色々な人々と友達になりました。また、自分の人生観も広がっていきました。私にとって、人生で大事な

ことは成長ということだと思います。しかし、成長は必ず人や物事から刺激を受けなければなりません。私、自身はこの活動から色々な刺激をいただき、成長したと実感しております。最後、第五期の皆さん、また台湾や日本で会いましょう。(5期 林忠宏)

こんにちは！五期、2班のサポーターはるみです！このイベントに参加したのはもう二年前なのですが、今でも頭の中に鮮明に残っています！仙台のみんなと台湾でいろんなところへ見学しに行つて、ホームステイも受けて、すごく充実で最高な1週間でした！このイベントのおかげで、自分の国をより一層知つたり、仙台へ初めて行つたり、いっぱい友達もできましたのでホントに一生の宝物になりました！これからもみんなとの絆を深めていけると嬉しいです！(((o(*°▽*)o)))仙台南大好き！♡



大家好~我是五期第二小隊的孟蓁。雖然參加這個活動已經是二年前的事了，但至今仍印象鮮明的留在腦海中！記得那時和仙台的大家一起到處去參觀玩耍、還當了接待家庭，度過了非常充實的一週！多虧參加了這個活動，才對自己的國家有更深一層的了解、也去了仙台、認識了很多的朋友~真的成為我一輩子難忘的重要回憶。希望接下來也能和大家持續保持聯絡、加深彼此的友誼~最喜歡仙台南了！（5期 謝孟蓁）

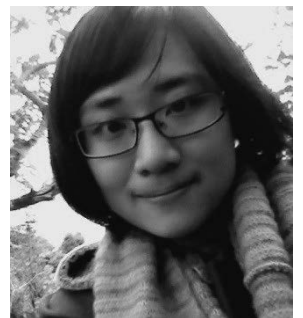


この活動に参加できて本当によかったといつも思ってます。たくさんの人と出会い、いろんな交流をし、お互いの文化もさらに知ることができ大変勉強になりました。みんなと一緒に海でも遊んだこと、一緒に粽を作ったことなど、私にとってすべてが大切な思い出です。その一週間は最高に楽しかったです。

真的超慶幸有參加這個活動的！參加這活動時還是高中生，很難得有機會能跟這麼多人交流，做朋友，我也從中獲得了許多經驗！那一個禮拜深深的影響了我到今天，且跟大家一起玩的畫面仍歷歷在目。那一週的回憶會一直在我心裡的。

(6期 周彤)

最も個人の印象を深くならせることは六期の皆とのボランティア活動です。この活動で障害者達と一緒にずんだもちや散らしすしを作りました。六期の皆は高校生ですが、作り方は熟練だけではなく、団結力も高いです。時々障害者とコミュニケーションすることは難しいので、きっと大変だと思いますが、六期の皆はいつもニコニコしていて、穏やかに作り方を障害者に教えている姿を見て、私はその優しさに感動していました。六期と一緒に過ごした毎日は楽しかったです。皆は特長があつて、本当にすごいと思います。特別な六期との出会いは私の人生の宝物です。



讓我在第六梯中印象深刻的是和大家一同參與的志工活動。這個志工活動中和身心障礙的朋友們一同製作了毛豆泥麻糬和什錦壽司。參加第六梯次的學生大多是高中生，但是他們對於食物的製作方法十分熟練，彼此也很團結，總是互助合作。在製作過程中，有時候很難和身心障礙的朋友們正常溝通，讓我覺得有點辛苦，但是看見第六梯的每一位總是笑臉迎人，並且穩重地教導身心障礙朋友製作方法。看著他們的身影，我不禁被那份溫柔感動了。和第六梯的大家度過的每一天都是愉快的。每個人各有所長，真的很厲

害。能和如此特別的第六梯相遇，是我一生中最珍惜的事物。(6期 楊以琳)



送愛到仙台この活動に参加できてとても嬉しいと思います。自分は更に幸せで、仙台まで行きました。六期の子以外にまた多くの可愛い子たちと友達になりました。ホームステイも体験して、言葉のできないほど本当の家族の感情です。仙台の皆さんと交流して遊んで、友達になって、出会った人のことも、あったことも全部一生忘れない大事なメモリー、宝物です。その中で、一番印象を残っているのは、やはり最後の送別会です。送別会でみんなが本当の気持ちを表して、伝えたい言葉を言い出して、暖かさが溢れた雰囲気でした。短い一週間の中で、お互い会ったことのもなくて、まったく知らない状況から、こんなに親しくなれたのはとても不思議だと思います。最後に、皆さんに一言を、みんながどこにいても、いつでも、何をしても、忙しくてもキノコはずっとずっとみんなを応援していますよ！<3 (6期 李翌慈)

「送愛到仙台」イベントのサポーターを担当させていただき、誠にありがとうございました。短い時間ですが、一生忘れられない思い出をみんなで一緒に作りました。一番楽しかったのは、やっぱりホームステイですね。イベントが終わったとしても、縁は続きます。私が仙台に行った時、このイベントで知り合った友達が優しく案内してくれて、いろいろなところに見学して仙台を満喫しました。このような貴重な経験は、私の一生の宝物になります。台湾と日本の繋がりがますます深まることを心より期待しています。七期のサポーターのみおです。送愛到仙台(台南市青少年訪問団)に参加できてよかったです。活動を通して、日本のことをもっと知りたくなるので、2015年9月に日本へ留学しに来ました。そして、七期の団員とも親しくなり、今でも二班のラインが続いています。この間も七期と八期のメンバーと仙台で芋煮会をしました(笑)。この活動に参加したことのおかげで、日本語を上手になって、いろいろなことを勉強できて、たくさんの友達を作られて、そして、日本への留学もできました。この活動をやった Sentia と台南市政府に感謝を致します。(7期 謝其湘)



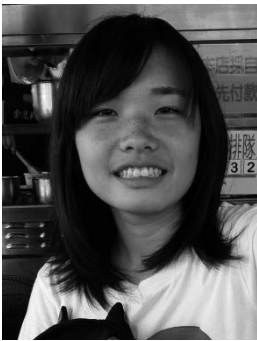
我參加的是第七期的送愛到仙台。能參加這次的活動真的很開心，也學到很多事情。並以這次活動為契機，在2015年9月來到日本山形當交換生。這次活動中，與七期成員的感情越來越好，在我來日本留學後，也舉辦了芋煮會。託活動的福，不禁交了許多日本朋友，日語能力也大幅進步，還來到日本體驗不同的生活。這都要感謝舉辦這次活動的台南市政府及 Sentia。謝謝

私が参加したのは、七期の「送愛到仙台」(台南市青少年訪問団)でした。今回の活動に参加したことを通して、いっぱい経験を得て本当に楽しかったです。この活動をきっかけにして、私は2015年の9月に山形県で交換留学生になりました。今回の活動では、私も七期のメンバーも絆が強くなりました。日本に留学して、私も芋煮会体験出来ました！活動に参加したから、私はたくさんの日本人の友達もできて、日本語能力も良くなって、日本で違う生活も体験できました。これは全部、この活動をサポートしていた台南市政府と SenTIA のおかげです。(7期 邱科瑛)

たまに学校のホームページで見たボランティア活動は、私の考え方や人生をこんなに変えたのは本当に思わなかったです。7期も8期も9期も送愛到仙台のみんなに出会え本当に本当によかったと思います♪ このプログラムに通して、マジでたくさん素晴らしい人達に出会えて、いい経験になりました。人と人の絆も非常に強く感じられました。この思い出は絶対一生の宝物です!!! また一緒に遊べるならいいと思っています。送愛到仙台大好き。



只是無意間在學校網頁上看到志工招募，覺得好像蠻有意義的我又想練日文就報名了。真的當初完全沒有想到我會透過這個活動遇到這麼多厲害、有想法、有夢想的人，會交到這麼多充滿愛又常常會自己發瘋的好朋友們。這個活動給了我好多好多，無法一一列舉的好多好多，讓我改變的好多好多。我只希望這個活動的精神能夠繼續傳承下去，透過這個活動的友誼也能延續下去。對於送愛到仙台我真的有太多的感謝說不完，這個活動所帶給我的幸福感讓我每每回想起都會不停的像個傻瓜發笑。大家以後一定還要常約出來玩樂!!! 我愛大家 我愛仙台 我愛台灣 我愛送愛到仙台 (7期 許菡芸)



このイベントで七期の一員として参加させていただいてから、もう一年以上に経ちました。最初はただ異文化を体験したい、自分の日本語をより一層に進歩したいという理由で参加しましたが、イベントが終わってから今まで台湾のサポーターたちと仙台のみんなとの絆はそんなに深くつながってることは本当に思わなかった。一番印象を残るのは、一緒に世界に一つだけの花を歌ったことと参加した時ちょっと風邪を引いたりすることです。本当に申し訳なかったと思いました。でもみんなが心配してくれて本当に感動していました。私はこのイベントに参加することでかけがえのない絆が得ました。お世話になった大好きな四班のみんな、そして七期のみんなと台湾のサポーターたち、これからもよろしくお願いします。(7期 游方萱)

時間が経るのが速すぎないかと思いますが、2015年を振り替えて一番嬉しいことは何かと聞かれたら、「訪問団に参加することです」と私は思わず答えます。台南市青少年訪問団はまるで夢のような一週間でした。素晴らしい思い出となりました! サポーターとして今回もう一度参加させていただいてホントに楽しかったです。この活動を通じて、海外の方と一緒に交流できたり、遊んだり、変なゲームしたりして、最高な一週間で過ごしてよかったなあと思います。交流活動の前に緊張してずっと悩んでいましたけど、みんなと出会えてたくさん話していてよかったですね! 疲れていたときもあるけど、みんなは笑顔で支えてくれてありがとうございました! 4年にわたって訪問団が2015年に終わりましたが、台湾人と日本人メンバーの交流は止まらずに続いています。訪問団のおかげで、日本人の方が台湾が好きになったり、台湾のことを深く知るため旅行してきたり、留学をしてきたりして、台湾人である私は何よりうれしいです。大学での最高な思い出を作ってくれてみんなさん、ありがとうございました! みんなとの再会を期待しています。(6, 8期 黃智偉)





最初はただ自分の地元をもっと多くの日本人に知ってもらいたいだけで、サポーターを応募しました。国際交流ができ、自分の日本語能力も磨ける、そして、日本人の友達が増えると思いました。しかし、私はこの訪問団の事業に通じて得たものはそれだけではありません。訪問団の後、交換留学のためにすぐ仙台にきました。サポーターの経験があるので、私はほかの留学生と違い、特別な思い出たくさん作れました。今も時々思うんですが、サポーターにならなかつたら、どんな留学生活を送っているのでしょうか。仙台に来て、8期の友達だけじゃなくて、他の期の友達もできました。とてもありがたいです。8期が終わってちょう

ど一年、今まで最高の一年だと思います。すべてすべて SenTIA の皆様、CHIMEI の皆様、訪問団のみんな、サポーターのみんなのおかげです。ありがとうございます。皆がいなかつたら、今のイブンはないと思います。台湾に来たら、台南に来たらぜひぜひ連絡ください。待ってます♪

當初只是抱著想介紹自己長大的地方給更多日本人知道才報名了送愛到仙台的志工。想著有機會可以練習日文、可以結交新朋友、進行國際交流等等。但最後我獲得的不僅是這些。活動結束後一個月，因為交換留學而開始在仙台生活。雖然沒有來過仙台，但卻有一股熟悉感。常常與在這個活動裡認識的日本學生玩，認識了更多其他期的學生們，也很榮幸的在送愛到仙台第十期擔任仙台的志工，讓我有更多更多與其他留學生不同的特別體驗。從8期到現在過了一年，這一年可說是在我到現在的人生中最精彩的一年了吧。不時的在想像著如果當初沒有參加送愛到仙台的話，我現在會過著怎麼樣的留學生活。感謝因為這個活動而相識的每一個人，以後回想起這段經驗，應該也會不禁開心到笑吧！（8期 陳伊雯）

私は第8期の「送愛到仙台」に参加した。4班のサポーターを担当した。参加できて、本当によかったと思う！それに、色々なことを習って、成長した。みんなでPRブースをやったことが一番印象的な活動であった。PRブースに来たお客様から笑顔を見て、すごく嬉しくて、感動した。また、仙台の学生たちが頑張っている姿を見て、自分も頑張らなければならないと思っていた。この一週間、楽しかった！4班のみんなだけではなくて、他の学生とも仲良くなった！今までみんなと一緒に作ったいい思い出を宝物にしている。みんなが大好き！



在第8期的「送愛到仙台」當中，我擔任第四組的 supporter。真的很慶幸能夠參加這個計畫，不但學習到很多事情，也讓自己成長了不少。活動裡最讓我印象深刻的就是大家一起辦的日本文化體驗，看見每一位客人在參加文化體驗之後露出的笑容，讓我不只是感到開心，甚至是感動，除了客人，當我看到仙台的學生們認真努力的樣子，也讓我覺得自己必須更加油才行。這一週，與大家相處得很愉快，除了自己的組員之外，也和其他學生們加深了感情，至今為止，一直都把這段與大家創造的回憶當作是很重要的寶物看待，真的超級無敵喜歡這活動當中一起相處的所有人！（8期 葉芳華）



この活動を通して、普段あまり会えない学生たちと交流して意見を交わして、私にとって大変貴重なメモリーでした。東北の学生と文化を交わしたり、観点を交換することで、自分も成長しました。それは日本語を勉強した時考えられないことでした。今、思い出すと、ボランティア—応募してよかったでした。本当にいい活動だと思います。（8期 王憶霖）

この活動を参加したら、いろいろな体験があつて、仙台の人に台湾のことを知ってもらってすごく感動します。また友達たくさんできて、活動が終わって、いままでも連絡していて、一緒に食べたり遊んだりすることもあります。このつながりが続けて本当によかったと思います。(8期 呂珮安)



一年前ほど初の国際ボランティアに参加しました。その時のワクワクした気持ちがまだ覚えています。サポーターになるため、二日間で台湾人の仲間と初対面し、色々な台南の歴史を勉強しました。そしてガイドの体験ができてすごくよかったです。多数の日本高校生を歴史見物を連れ回したり、遊びたりしました。夜市でぶらぶらしたり、変な食べ物を食べたりしました。疲れきった感じとともに嬉しい気持ちもいっぱいです。そして、このチャンスを通じて、台湾人と日本人は絆をつなぎました。

大約一年前我幸運地選上送愛到仙台的國際志工，那時快樂的回憶還留在心底。為了成為獨當一面的小隊長，只有兩日的時間讓我們研修台灣的歷史，與台灣的夥伴們一同想點子，遊戲等等。對我來說是個很不可思議的一個星期。另一方面，帶著日本高中生們逛夜市玩樂，吃蚱蜢和奇怪的食物也很有趣。尤其是去體會原住民的那個夜晚，台灣人和日本人一起瘋狂的跳原住民舞蹈。彷彿當下大家是很熟識的朋友一樣那般歡樂。希望透過這個緣份大家能持續台日友好下去。(9期 張琦)



私が台南市青少年団に参加して一番印象に残ったのは、4班と過ごした時間だったでしょう。私はどちらかというとおとなしい性格なので、あまり人と会話したりおしゃべりしたりするのが苦手なんです。でも、その一週間は毎日4班に私の隣に座って笑顔で話しかけてもらっていました。台湾の大学生活とか、日本の高校生活とか、いろいろなことについてたくさんの交流をしました。一緒に日本のゲームもしました。少し言葉が通じなくても、分からない言葉があつてもとても楽しかったです。私も団長、ともこ、ますちゃん、みゆちゃんみたいな人になりたいです。笑顔が素敵で明るくて性格もかわいい4班はわたしにとって大切な宝物です。

印象最深刻的，應該是和我的組員們四班一起度過的時光吧。我的個性其實有點害羞也很容易緊張，不算是很會開啟話題和人聊天。但這一週以來我的隊員們一直對我很好，主動找我講話聊天，還教我玩了日本的遊戲。體會到了所謂的國際交流原來就是打開心胸勇於嘗試和他人對話。總之雖然也有語言不通的時候，可是託他們的福這一週對我來說真的很快樂。謝謝大家和所有在這期間幫助我很多的人們。

(9期 楊淳方)



7期の先輩を紹介して、送愛到仙台の9期を参加し、本当に良かったと思います。東日本大震災の仙台高校生たち、一週間台南に来て、台湾の歴史、食文化を分かってくれていいなと思います。台湾に滞在した間に、高校生達に台湾の暖かさを感じさせればいいと思って、これから、仲良くして欲しくて、台日友好を続けて、頑張りたいです。

因為7期的學姐介紹，才有機會能參加送愛到仙台第9期的活動。從仙台來的高中生們，在臺南生活一個禮拜之中，認識到了臺灣的歷史，吃的文化，並且希望可以讓他們感受到臺灣的溫暖，希望藉由這次活動，可以讓台日友好的關係繼續的維持下去，在未來一起加油努力。(9期 何松俊)

台湾のサポーター達と新しいネタを考え、アイデアをシェアすることは一番懐かしいです。「今度こそバカなことを存分にやれ」、これがその時私の考えです。(笑) 原文すら理解しにくい台湾語漢詩を日本語に翻訳できるか、芸能人を真似してくれるか、日本の皆さん全員臭豆腐を好きにさせるか、もちろん全部できるわけではありません。でも皆を笑わせるシーンは今も鮮やかに蘇ります。様々なアドリブの機会をいただいて本当にありがたいです。ガイドみたいで台南を紹介して、先に準備した内容を繰り返すだけでは、決して本当の挑戦とは言えません。最後皆さんに一言を言います。「ありがとうございます!これからもバカなことをいっぱいやります!」



與台灣的夥伴們一起想著新梗、坐下來分享彼此想法，是我最懷念的一刻。「這回我一定要嘗試做各種蠢事！」這是我當時的想法(笑)。我能不能把聽攏無的台語詩翻成日文？臨場要我做模仿藝人？還是讓我所有的日本組員嘗試喜歡上臭豆腐？當然，我沒有全部辦到。但是這些讓大家開懷大笑的場景，如今回想起來依然歷歷在目。如果只是像個小導遊般把學來的知識單純告訴大家，根本就說不上是挑戰，所以這一次得到這麼多讓我獨自發揮的機會，我真的感到很慶幸。最後想告訴大家：「真的很高興能跟大家痛快的玩一場！接下來也期待大家也與我一樣挑戰各式各樣的荒唐蠢事！」(9期 邱奕軒)



このイベントに参加していたときに、一番思い出のイメージが強いのはやっぱり最後の日です。みんなは泣いたり、一人ずつ順番に心から言いたい感想を話したり、最後は台湾のサポーターと日本の高校生たちにプレゼントを交換していました。今までもみんなそのときの顔をよく思い出した。このイベントに参加してよかったの気持ちになりました。みんなに言いたいことは私たちは付き合う時間がただ一週間だけですが、いろいろな思い出を作りました。いいこともあるし、わるいこともあるし、これは全部私たちの同じ思い出です。

參加這個活動時，印象最深刻的回印果然是最後一天的歡送會。大家一邊哭著，一邊一個個按照順序把自己內心想講的感想說出來。最後則是台灣的輔導員跟日本高中生交換禮物。即使到現在都還是會想起當時大家的面孔。不由得覺得有參加這個活動真是太棒了。對大家最想說的話就是我們雖然相處才短短的一個星期，但是我們卻創造出很多回憶。好的事情也有，不好的事情也有，但這些都是我們一同的回憶。(9期 葉佳宜)

各期代表のメッセージ 來自各期代表的訊息

台南訪問ではプロジェクト関係者のみならず全ての台南の皆様から盛大な歓迎をいただき、仙台は独りではないのだと復興への希望を感じました。孤立無援ではどんな試みも困難です。それが東北の復興となればその難しさは筆舌に尽くしがたいものなのでしょう。心強い味方の存在をととても近くに感じられました。この恩はどうやって返せば良いのでしょうか。台南での研修を通してなぜ台南の方々がここまで日本の応援をしてくれるのかを学びました。その理由は「昔に助けてくれたから」であると私は理解しました。困ったときはお互い様、という隣人の輪を広げ、今回お世話になった台湾だけでなく世界中の困った方の手助けをすることで恩返しになるのではないかと思います。（1期団長 阿部 晋士）



我要感謝不只台南訪問計畫的所有關係人，還有所有台南的各位們盛大的歡迎。我感受到一個希望，那就是仙台不是孤身一人的朝著復興之路前進。只要我們是孤立又無援助之下，不管怎麼嘗試，復興都是困難的，這是無法如此簡單形容的東北的復興。因此，這次台灣之旅讓我們感受到了台灣這個近距離存在著的可靠的夥伴。我們到底要如何回報這份恩情呢？透過了在台南的研修，我理解到了為什麼台南的各位會願意這麼大力的支援日本。這個理由是「因為我們以前也被日本人幫助過」。只要遇到困難，互相幫助是個慢慢將這個鄰國互助的圓給擴展開的方法。透過互相幫助，這是給對我們伸出援手的台灣，還有對世界各國的報恩的方法了。（一期團長 阿部 晋士）



私たちは2期だったので、台湾に行ってからすでに何年も経っています。しかし、台湾の大学生の方に案内してもらって夜市を訪ねたことは今でもはっきり覚えています。最初はその熱気と混雑ぶりに驚きましたが、タピオカミルクティーがととてもおいしかったです。2期のメンバーでは、団長だった小野愛さんに留学先の台湾で不幸がありました。しかし、彼女の日台交流への夢を受け継いで叶えていくことは可能だと思います。忙しい毎日を送っているとは思いますが、1日ずつでも交流イベント等に参加し、少しずつでも交流を進めていきましょう。（2期副団長 勝又 野歩）

我是第二期的訪問團，所以離去台灣也已經過了好幾年。那時候，我到現在還能很清楚的記得，台灣的大學生們帶著我們逛的夜市。雖然一開始被夜市裡的熱氣以及混亂的樣子給嚇到了，但是在那兒品嚐到的珍珠奶茶真的非常的好喝！第二期的成員裡，團長的小野愛在台灣台灣留學時遭遇不幸，但是希望我們能夠繼承以及實現她對於日台交流的梦想。雖然我們每個人都在過著忙碌的每一天，但是能夠每天透過參加交流活動，一點一點地走下去。

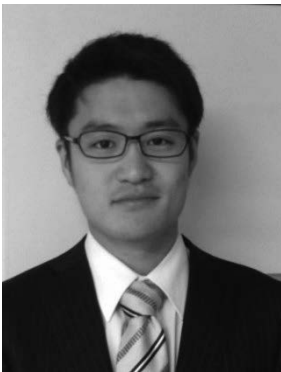
（二期副團長 勝又 野歩）

私たち三期の29名が台南市を訪問してから約4年が経ちます。一週間という短い期間に奇美博物館や夜市見学、阿里山でのツォ族の文化体験、田植え・粽作りなど沢山の思い出を作りました。最後に台南市街地で日本文化紹介イベントを開きました。朝から晩まで濃密なスケジュールを目一杯に体験し、夜はイベントに向けて話合いや準備を進めました。当日は台南市の皆さんに震災時の支援に対する感謝を伝えるとともに、浴衣の着付けや七夕飾り



作りなど日本の文化を楽しんでいただきました。私たちは、交流を通して互いの文化を学び合い、素晴らしい経験と友人を作ることができました。今後もこの繋がりを絶やさず、交流を続けていきたいと思います。 **(3期団長 作間 温子)**

距離我們29位第三期訪問團訪問台南市也過了約四年的時光。在短短的一星期內，我們有了參觀了奇美博物館與夜市，阿里山的鄒族文化體驗，種稻，包粽子這些許許多多的回憶。最後，我們在台南市街上舉辦了介紹日本文化的活動。從早到晚緊湊的行程表下，我們用心的體驗台灣，又在晚上商談了活動的計畫與準備事項。當天，我們對台南市的各位傳達了對於支援我們震災的感謝之意。我們透過了交流互相學習兩國文化，獲得了寶貴的經驗，以及結交了朋友。今後，我們也將繼續這段聯繫，繼續與台灣交流。 **(三期團長 作間 温子)**



台南市では、本当に楽しい経験をたくさんさせてもらいましたが、私の中で最も強く感じたことが、台湾の人々・台南の人々の温かさです。サポーターのみなさん、街ですれ違う人々、迎えてくださったたくさんの方々が、皆温かかった。そして、そのことはとても幸せなことだと思いました。台湾と日本は様々な経緯があり、今のような関係を築くことができています。私たちが研修で学んだ歴史の出来事もそうですし、台湾を訪れるきっかけになった、東日本大震災後の台湾のみなさんからの数々の支援もそうです。今後も友好を深め、お互いを思いやり、助け合う関係を続けていければいいというのが私の思いです。お互いの存在が、大変なときの心の支えになるはずです。 **(4期副団長 山内 崇寛)**

我從台灣的台南市真的得到了許多寶貴的經驗。在這些許多的體驗與回憶哩，讓我感受到最熱烈的還是台灣人與台南人們的溫暖。各位 Supporter，街上擦肩而過的人們，迎接我們到來的人們，每個人都讓我感受到溫暖。台灣與日本經歷了許多事，才造就了現在這樣友好的關係，讓我覺得是個非常幸福的事。不只我們在研修時學到的台灣相關的歷史，還有造就我們來訪台灣機會的台灣人給予東日本大震災的大量援助。今後，希望台灣與日本友好的關係能夠更深，並且能夠持續這個相互支持的關係。讓日本與台灣的存在，成為在有困難的時候，大家的心靈能有個依靠的地方吧。

(四期副團長 山内 崇寛)



台南市訪問団での1番の思い出はと聞かれると、仙台PRブースで「我愛台灣」と叫んだこと、皆で「花は咲く」を歌ったこと、涙のお別れ交流会など、思い返せば心に残る思い出がたくさんあって決められません。一番がたくさんあってもいいじゃないでしょうか(笑)私の携帯のアルバムに入っている訪問団で撮った写真を時々見返す時がありますが、その度に眩しい思い出がよみがえってきて、ちょっぴり切ない気持ちになります。あれから2年の月日が経って、私は今奈良で障害を抱えている方を支援する仕事をしています。仕事でつまずいた時や迷いが生じたときに、私は原点に戻ることを心がけています。自分にとっての原点は台南市青少年訪問団です。訪問団で私はたくさんの人と関わることが好きだと気づき、楽しむことの大切さを教えてくれました。今こうして文章を書いていて、そのことに改めて気づくことができました。なので、皆さん、次回会うときはあのときの様に思い切り楽しみましょう！謝謝！再見！

(5期団長 大土 將皓)

如果要說起作為台灣訪問團印象最深刻的回憶的話，那就是在宣傳仙台的攤位裡大喊「我愛台灣」，大家一起唱「花が咲く（花開了）」，哭著的離別交流會，回想起來實在是有太多深深留

在我心裡的回憶，讓我無法取決於任何一個。印象最深刻的回憶，就算有好幾個又有什麼關係呢！留在我手機相簿裡的在台灣訪問期間照的照片，我還是時不時地會打開來好好品嚐那些回憶。每看一次照片，總是會喚起這些耀眼的回憶湧上心頭，而覺得有些鼻酸。從那以後又過了兩年的日子，我現在在日本的奈良縣，做著支援障礙人士的工作。當我在工作上遇到困難又迷失自我的時候，我的心會告訴我要回到原點。對我來說，我的原點就是台南市青少年訪問團。在訪問團裡，我發現到了我喜歡人與人互動的事，還有享受這些事物是如此的重要。現在這樣寫著這篇文章，更讓我注意到了這些事。所以各位，希望下次再見面的時候能夠像當時一樣痛快地享受那時光吧。「謝謝！再見！」（五期團長 大土 將皓）



私が台湾で経験した沢山の素晴らしい事を全てご紹介したいですが、6期だからこそ感じる事が出来た思い出があります。それはボランティア活動です。6期には新たに台南市青少年訪問団の活動として障がい者施設での活動を行いました。前日の計画の段階から悪戦苦闘していました。実際に行ったことがないので、何度も計画を立て直しました。しかし、不安を抱えたまま当日に。スケジュール通りにいかないことがありましたが、最も重要な訪問団と施設の人々との交流、コミュニケーションをはかり合うことが出来ました。言葉が通じることが出来なくても笑顔で繋がる事が出来たと感じました。今回のボランティア活動は台南市青少年訪問団の活動の中で最も内容の濃い活動になったと感じました。また台南市青少年訪問団だからこそ、この有意義なボランティア活動に参加出来たのだと思いました。（6期團長 中鉢 萌寧）

很想把我在台灣所經歷的所有美好的事全都向大家介紹，但在這裡要說說作為第六期訪問團所感覺到的事物以及回憶：那就是義工活動。第六期的台南市青少年訪問團新加了一個訪問障礙人士的機構的活動。在事前計劃的階段開始就我們就一直苦戰著，因為大家沒有任何去障礙機構的經驗，所以我們不斷的修改計劃。在抱著不安的心情到達了訪問的當天。雖然當天還是有些時程表上的狀況發生，但是最重要的訪問團與機構裡人們的相互交流與對話還是成功地達成了。就算語言上互不相通，我們還是能夠透過笑容與人們聯繫起來。所以我感覺到這次的義工活動是台南市青少年訪問團的活動中最有意義的一個。我很感謝能讓我作為青少年訪問團來體驗到這些有意義的義工活動。（六期團長 中鉢 萌寧）

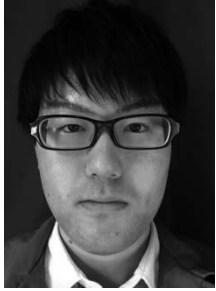
「人生という道に存分に走ろう！」青春ドラマみたいになっちゃったと笑いながら、伯霖は言いました。私は走れているだろうか、サポーターや団員仲間は今、どこを走っているのだろうか。部屋にぶら下がるTシャツを眺めて、時々考えます。一番の思い出は、底が見えない樽酒を原住民の村で酌み交わしたことです。飲んで、歌って、踊った夜。7期の面々を思い出そうとすると、乾杯の場面ばかりが浮かぶのです。あの夏から1年半が経ちました。東日本大震災からは5年が経とうとしています。心を通わせた夢のような思い出と、この訪問団の始まりが震災にあることを忘れずにいたい。どこを走っていても、互いを想う大切な友達でいられるように。

（7期團長 氏家 由希子）

「放手去跑這條名為人生的道路吧！」就像是青春偶像劇一樣邊笑著伯霖說了。我有沒有好好的跑去呢？Supporter 以及團員們現在又再往哪裡跑呢？我有時候會看著掛在房間一角的 T-shirt



思考這些事。印象最深刻的是，在原住民村里暢快地喝著不管怎麼樣都見不到酒桶底的酒。我們邊喝，邊唱，邊跳著舞的那一晚。只要想起第七期的成員們，腦中浮現的都是那些乾杯的畫面。從那年的夏天開始，已經過了一年半的時光。東日本大震災到現在也過了五年了。就像是深深留在心底的夢一般的回憶，我不想忘記這個訪問團的開始是因為有了這個東日本大震災。希望我們能夠互相成為不管大家各自往哪個方向跑，都能互相回憶起來的朋友吧。（七期團長 氏家 由希子）



私は第8回台南市青少年訪問団の団長として、参加させて頂きました。震災後に頂いたご支援への感謝や、復興に向かって進む現在の仙台の状況を直接自分の言葉で伝えることが出来ました。台南訪問の一番の思い出は伝統文化体験です。台南市の文化を自ら実際に体験し、理解することができる貴重な経験となりました。このような素晴らしい体験ができたのも、大学や学年の異なる個性豊かな第8期のメンバーのおかげです。最後に、実施にあたりご尽力頂いた全ての方々に心から感謝申し上げます。（8期団長 堀江 猛）

我有幸作為第八期台南市青少年訪問團的團長，參加了台南訪問的活動。我能夠透過自己的話語傳達我們對於台灣給我們震災支援的感謝之意，還有朝著復興之路前進的仙台的現況。在台南訪問活動裡，讓我最印象深刻的回憶是傳統文化的體驗。我們有了個實際體驗以及理解台南市文化的如此貴重的經驗。能夠有這麼美好的體驗，也是多虧了我們這些不同學年又個性豐富的第八期成員們。最後，我還要感謝所有全力支援及實施這訪問團的所有人。（八期團長 堀江 猛）

心に残った台南での一番の思い出は台湾の原住民の方々との交流会です。まず原住民の小学生とお互いにダンスを披露しあったり、サッカーや折り紙を一緒に楽しみました。また夜には料理でおもてなしして頂き、それは日本では見ない食べ物もあり、最初は戸惑ったものの、料理の美味しさを実感した後は箸が止まりませんでした。最後には弓引きや民族ダンスにみんなで参加し大いに盛りあがりました。訪問団の団員とは共に過ごす中で、徐々にお互いを知りそして大切にしていかなければならない存在だとお互いが認め合うそんな関係ができてきたのではないかと思います。サポーターを含め様々な方々との交流は本当に意味のあるものになりました。これからもその絆を大切にしていきたいです。（9期団長 富田 利玖）



在我心中對台南留下最深的回憶是與台灣原住民們的交流會。我們首先與原住民的小學生們互相表演舞蹈，後來又一起踢足球與摺紙。當晚又招待了我們許多在日本沒看過的料理，一開始有點困惑這些沒看過的料理，但感受到了這些料理美味之處後我的筷子便停不下來了！最後我們大家又一起體驗拉弓與民族舞蹈，整個氣氛甚是非常的熱鬧。與訪問團的團員們一起度過的時間裡，我們慢慢地相互理解，又進而的認知到我們是互相的關係已轉變到了無可替代的存在。包含了Supporter 在內，我們與非常多的人有了許多意義的交流。我會好好的珍惜這份與台灣的牽絆。（九期團長 富田 利玖）

第1回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男6名、女24名 計30名

No	名 前	ふりがな	性別	学校名／所属	学年
1	青島 翔平	あおしま しょうへい	男	宮城教育大学	3
2	青柳 愛	あおやぎ あい	女	尚綱学院大学	1
3	阿部 晋士 (団長)	あべ しんじ	男	仙台高等専門学校	4
4	阿部 堇花 (副団長)	あべ すみれ	女	宮城教育大学	1
5	石黒 弘樹	いしぐろ ひろき	男	東北福祉大学	1
6	一條 文佳	いちじょう ふみか	女	東北大学	2
7	大友 美穂	おおとも みほ	女	宮城大学	2
8	小山田 陽奈	おやまだ はるな	女	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	-
9	柿崎 有希	かきざき ゆうき	男	東北学院大学	3
10	木皿 瑠美	きさら るみ	女	東北学院大学	3
11	今野 愛美	こんの めぐみ	女	宮城学院女子大学	4
12	齋藤 宇成	さいとう たかあき	男	東北学院大学	2
13	櫻場 愛梨	さくらば あいり	女	仙台白百合女子大学	2
14	佐々木 愛	ささき あい	女	東北学院大学	4
15	佐々木 綾香	ささき あやか	女	東北学院大学	1
16	佐々木 沙織 (副団長)	ささき さおり	女	仙台白百合女子大学	2
17	佐藤 紘	さとう ひろ	女	宮城教育大学	4
18	品川 彩子	しながわ あやこ	女	宮城教育大学	2
19	庄子 梢	しょうじ こずえ	女	東北学院大学	2
20	鈴木 静花	すずき しずか	女	宮城学院女子大学	2
21	鈴木 春菜	すずき はるな	女	東北学院大学	4
22	滝澤 祥子	たきざわ しょうこ	女	東北大学	2
23	武政 明日香	たけまさ あすか	女	東北大学	2
24	天満 和人	てんまん かずと	男	東北学院大学	3
25	平間 眞珠	ひらま まみ	女	宮城教育大学	1
26	真壁 さくら	まかべ さくら	女	東北学院大学	2
27	目黒 亜季	めぐろ あき	女	東北学院大学	3
28	百井 温美	ももい あつみ	女	東北学院大学	2
29	柳川 実来里	やながわ みくり	女	東北生活文化大学	2
30	山口 純枝	やまぐち あやえ	女	東北学院大学	2

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属 ・ 同行期間
1	守 修一	もり しゅういち	男	仙台市市民局次長 2/16～2/19
2	池田 規子	いけだ のりこ	女	(財)仙台国際交流協会副理事長 2/16～2/19
3	佐藤 剛	さとう たけし	男	同企画事業課長 2/19～2/26
4	川合 朋子	かわあい ともこ	女	同企画事業課企画係 2/16～2/26

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	陳國誌	男	6	黃楷婷	女
2	韓安和	男	7	李依柔	女
3	李依倩	女	8	董玉婷	女
4	蘇昱宏	男	9	曾意青	女
5	梁懿文	女			

※ 上記の他、南台科技大学の葉蓁蓁先生及び同大学日本人学生 嶋田 俊氏及び阿部 光さんには、通訳及び日本人学生と台湾側との橋渡し役としてサポートをいただきました。とり分け、嶋田氏及び阿部さんにはほぼ全日程にわたり同行いただきました。これらお三方には、第2期以降の訪問団でも協力をいただきましたが、第2期以降の名簿への掲載を省略します。

平成24年(2012年)2月 第1回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	2/16(木)	仙台 仙台-台北 台北-台南 台南市	13:30 16:15-19:30 21:57-23:21	仙台空港集合 仙台空港⇒台北桃園空港 桃園駅⇒台南駅(台湾新幹線) 台南駅⇒樹谷会館	樹谷会館
		台南市			
2	2/17(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 台南市政府記者会見(歓迎会)	樹谷会館
			午後	グループに分かれ、市内で昼食、見学 夕食(台南市政府招待)	
3	2/18(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 授業(台湾の歴史、台湾の言葉と文化) 台湾茶会(奉茶 愛国婦人館にて)、昼食(弁当)	樹谷会館
			午後	市内見学 孔子廟、台湾文学館、気象館ほか 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	授業(台湾の宗教と多民族の特色)	
4	2/19(日)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 奇美博物館見学、昼食(社員食堂)	屏東大洲 花園山荘
		屏東県 (パイワン族の村)	午後	移動 先住民(排湾=パイワン族)の文化体験 夕食(達来村)	
5	2/20(月)	屏東県 (ルカイ族の村)	午前	朝食(屏東大洲花園山荘) バス、ジープを乗り継ぎ、最奥の部落である阿禮村へ 先住民(魯凱=ルカイ族)の文化体験 昼食(阿禮村・屋外パーティ)	樹谷会館
		台南市	午後	移動 夕食(樹谷会館) 八田與一映画鑑賞	
6	2/21(火)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム(八田與一記念館) 昼食(關子嶺-橘子雞)	三合院(農村の 伝統的民家)
			午後	關子嶺(泥温泉) 後壁区菁寮へ移動 夕食(三合院)	
7	2/22(水)	台南市	午前	朝食(三合院) ちまき作り、農村体験、菁寮の街あるき 昼食(屋外で、ちまきなど)	樹谷会館
			午後	玩具づくり体験、牛車体験 烏樹林砂糖工場(五分車体験) 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	台日学生交流時間	
8	2/23(木)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 佛教祈願(佛光山) 昼食(佛光山素齋)	佳佳西市場旅店 (ホテル)
		高雄市郊外	午後	奇美実業創業者と会見 黒面ヘラサギウォッチング グループごと、花園夜市(夕食等)	
9	2/24(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 大洲地区-生態保護に配慮した農村見学 昼食(樹谷会館)	樹谷会館
			午後	アウトドア活動(クライミング体験) 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	感謝カード作成	
10	2/25(土)	台南市	日中	朝食(樹谷会館) ホームビジット 夕食、交流会(樹谷会館)	樹谷会館
11	2/26(日)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 樹谷会館⇒台南駅、昼食(弁当)。地震でダイヤの乱れ 台南駅⇒台北駅⇒松山空港(台湾新幹線、タクシー)	樹谷会館
		台南-台北 台北-東京 東京-仙台 仙台	15:35頃 空港着 16:00-19:50 21:44-23:48 23:50頃	台北松山空港⇒羽田空港⇒浜松町⇒東京駅 東京駅⇒仙台駅(新幹線) 解散	

第2回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男4名、女24名 計28名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	飯野 瑞希	いいの みずき	女	仙台第二高等学校	2
2	大内 里紗	おおうち りさ	女	仙台東高等学校	3
3	大里 ひなの	おおさと ひなの	女	尚綱学院高等学校	2
4	岡本 知穂	おかもと ちほ	女	仙台東高等学校	3
5	小野 愛 (団長)	おの あい	女	仙台二華高等学校	3
6	小野 真由里	おの まゆり	女	尚綱学院高等学校	3
7	勝又 野歩 (副団長)	かつまた のぶ	男	仙台第一高等学校	2
8	菅野 祐輔	かんの ゆうすけ	男	宮城野高等学校	2
9	後藤 さくら	ごとう さくら	女	仙台第二高等学校	2
10	齋藤 汐里	さいとう しおり	女	尚綱学院高等学校	3
11	佐々木 里菜	ささき りな	女	仙台東高等学校	1
12	佐藤 結愛	さとう ゆうあ	女	仙台東高等学校	1
13	佐藤 航	さとう わたる	男	仙台東高等学校	3
14	高橋 真由	たかはし まゆ	女	尚綱学院高等学校	3
15	高橋 玲衣	たかはし れい	女	仙台東高等学校	3
16	田中 瑠乃	たなか るの	女	宮城野高等学校	1
17	永山 真寿美	ながやま ますみ	女	仙台高等学校	3
18	新岡 菜穂	にいおか なほ	女	尚綱学院高等学校	3
19	松田 美貴子	まつだ みきこ	女	宮城野高等学校	2
20	三浦 英里奈(副団長)	みうら えりな	女	仙台東高等学校	1
21	宮崎 功太郎	みやざき こうたろう	男	仙台第一高等学校	1
22	武藤 汐里	むとう しおり	女	仙台高等専門学校	2
23	百井 陽美	ももい みなみ	女	尚綱学院高等学校	2
24	諸隈 ななみ	もろくま ななみ	女	仙台第二高等学校	2
25	八重樫 のぞみ	やえがし のぞみ	女	仙台白百合学園高等学校	3
26	山本 舞	やまもと まい	女	仙台東高等学校	3
27	吉田 夏美	よしだ なつみ	女	仙台白百合学園高等学校	3
28	渡邊 久美	わたなべ くみ	女	宮城県農業高等学校	3

□サポーター

1	齋藤 宇成	さいとう たかあき	男	東北学院大学	3
2	目黒 亜季	めぐろ あき	女	東北学院大学	4

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	渡辺 芳人	わたなべ よしと	男	(財)仙台国際交流協会企画事業課交流係長
2	川合 朋子	かわあい ともこ	女	(財)仙台国際交流協会企画事業課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	陳國誌	男	5	許瑞英	女
2	黄馨慧	女	6	林汶蓁	女
3	高登純	女	7	張晉華	女
4	葉家希	男			

平成24年(2012年)8月 第2回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	8/2(木)	仙台	13:30	仙台空港集合。台風により出発が遅れ待機	樹谷会館
		仙台-台北 台北-台南 台南市	17:30-19:30 21:00-22:23 23:30頃着	仙台空港⇒台北桃園空港 桃園駅⇒台南駅(台湾新幹線) 台南駅⇒樹谷会館	
2	8/3(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-孔子廟、日本式の建物 昼食 安平老街(小吃)	樹谷会館
			午後	古跡-安平古堡 台江緑トンネル巡り 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	8/4(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 台湾式のお寺祭り+お寺の儀式 昼食(台南グルメ)	樹谷会館
			午後	台湾の茶道(奉茶-愛國婦人館にて)	
			夜	グループごと、花園夜市(夕食等)	
4	8/5(日)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 後壁区青寮へ移動 米食DIY(ちまき作り) 農村生活体験、菁寮老店巡り 昼食(自分で作ったちまきを食べる)	樹谷会館
			午後	移動 烏山頭ダム 成功大学キャンパス巡り 夕食(小籠包)	
			夕食後	台南市内巡り	
5	8/6(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 移動	樹谷会館
		屏東県 (パイワン族の村)	午後	先住民(排湾=パイワン族)の文化体験 先住民ライブ 夕食(豚足)	
		台南市	夕食後	ゲーム大会	
6	8/7(火)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 奇美科学館 烏樹林砂糖工場	樹谷会館
			午後	關子嶺(泥温泉) 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	活動の感想交流・感謝カードを作る	
7	8/8(水)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 大洲地区-生態地区の建設 奇美博物館	中壢中信大飯店 (ホテル)
			午後	昼食(社員食堂) 台南市副市長 表敬 お別れ交流会 夕食(樹谷会館)	
			台南-台北	夕食後	
8	8/9(木)	台北市 台北-仙台 仙台	午前 10:25-15:00 15:45頃	朝食 桃園空港⇒仙台空港 解散	

8/6及び8/7は、当初、ツオウ族の村(嘉義県阿里山郷)に行く予定だったが、台風の影響で、左記のとおり日程が変更

第3回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男6名、女22名 計28名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	荒巻 広夢	あらまき ひろむ	男	東北大学	3
2	有馬 碧	ありま みどり	女	東北学院大学	3
3	石岡 慶子	いしおか けいこ	女	東北学院大学	4
4	一條 紗綾	いちじょう さあや	女	東北学院大学	4
5	伊東 留	いとう るう	女	仙台医療センター附属仙台看護助産学校	2
6	氏家 麻弥 (副団長)	うじいえ まみ	女	東北学院大学	3
7	大津 賢哉	おおつ けんや	男	宮城教育大学	1
8	小山田 友梨恵	おやまだ ゆりえ	女	東北学院大学	3
9	鎌田 聖羅	かまだ せいら	女	宮城大学	3
10	亀山 千晃	かめやま ちあき	女	東北学院大学	3
11	菅野 那美	かんの なみ	女	東北学院大学	3
12	菊池 麻子	きくち あさこ	女	仙台白百合女子大学	4
13	菊池 さおり	きくち さおり	女	宮城学院女子大学	4
14	菊地 敏実	きくち としみ	女	仙台白百合女子大学	3
15	工藤 響	くどう ひびき	女	宮城学院女子大学	4
16	坂本 美玖	さかもと みく	女	東北学院大学	3
17	作間 温子 (団長)	さくま あつこ	女	宮城学院女子大学	2
18	佐藤 京佳	さとう きょうか	女	東北学院大学	3
19	佐藤 美沙妃	さとう みさき	女	東北学院大学	4
20	佐藤 裕也 (副団長)	さとう ゆうや	男	宮城大学	4
21	庄司 茜	しょうじ あかね	女	東北学院大学	3
22	菅野 万寿美	すげの ますみ	女	東北大学	2
23	関 美菜子	せき みなこ	女	東北大学	4
24	高橋 建人	たかはし けんと	男	東北学院大学	2
25	高橋 良	たかはし りょう	男	国立仙台高等専門学校	4
26	西澤 良香	にしざわ よしか	女	東北学院大学	4
27	速水 邦晃	はやみ くにあき	男	東北大学	2
28	矢吹 有唯	やぶき ゆい	女	東北大学	2

□サポーター

1	佐藤 紘	さとう ひろ	女	宮城教育大学大学院	1
2	山口 純枝	やまぐち あやえ	女	東北学院大学	3

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	佐藤 剛	さとう たけし	男	(財)仙台国際交流協会企画事業課長
2	赤坂 恵利加	あかさか えりか	女	(財)仙台国際交流協会企画事業課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	黄偉誌	男	5	洪庭芸	女
2	許瑞英	女	6	蔡淑如	女
3	廖偉捷	女	7	黄薰慧	女
4	揚家祈	男	8	陳國誌	男

平成24年(2012年)8月 第3回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	8/16(木)	仙台 仙台-台北 台北-台南	13:30 16:15-18:55 21:21-22:43	仙台空港集合 仙台空港⇒台北桃園空港 桃園駅⇒台南駅(台湾新幹線)	樹谷会館
		台南市	23:50頃	台南駅⇒樹谷会館	
2	8/17(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡	樹谷会館
			午後	昼食 安平老街(台湾式屋台) 古跡-赤崁樓+武廟(お寺の儀式) 成功大学キャンパス巡り 夕食(ショウロンポー)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	8/18(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 古跡-孔子廟+日本式の建物 台湾の茶道(奉茶-愛國婦人館にて)	樹谷会館
			午後	昼食(台南グルメ) 海安路 散策 仙台市訪問団と仙台PRイベント	
			夜	台南市内巡り+夕食	
4	8/19(日)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 後壁区青寮へ移動 米食DIY(粽を作る) 農村生活を体験する+菁寮老店巡り 昼食(自分で作った粽を味わう)	樹谷会館
			午後	烏山頭ダム 台江緑トンネル巡り	
			夜	花園夜市+夕食	
5	8/20(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) バスで移動	阿里山郷來吉村 蘭后休閒民宿
		嘉義県 (ツォウ族の村)	午後	昼食(奮起湖駅弁) 先住民(鄒=ツォウ族)の文化体験 夕食(先住民のオリジナル料理)	
			夕食後	先住民パーティー	
6	8/21(火)	嘉義県 (ツォウ族の村)	午前	朝食 先住民(鄒=ツォウ族)の文化体験 阿里山森林鉄路に乗車 昼食(阿里山森林鉄路神木駅周辺)	樹谷会館
		台南市	午後	バスで移動 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	活動の感想交流・感謝カードを作る	
7	8/22(水)	台南市	午前	大洲地区-朝食DIY+生態地区の建設 奇美博物館 昼食(社員食堂)	中壢中信大飯店 (ホテル)
			午後	移動、交流会準備 お別れ交流会 夕食(樹谷会館)	
		台南-台北	夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	8/23(木)	台北市 台北-仙台 仙台	10:05-14:15 15:15頃	朝食 桃園空港⇒仙台空港 解散	

第4回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男8名、女21名 計29名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	浅野 早紀	あさの さき	女	宮城教育大学	2
2	遠藤 麻矢	えんどう まや	女	東北工業大学	3
3	太田 恵	おおた めぐみ	女	東北学院大学	2
4	貝森 義仁	かいもり よしひと	男	宮城教育大学	4
5	川村 愛	かわむら あい	女	宮城教育大学	1
6	河村 奎太郎	かわむら けいたろう	男	東北大学	2
7	菊田 紘子	きくた ひろこ	女	東北学院大学	3
8	菊地 佑香	きくち ゆか	女	宮城学院女子大学	1
9	木村 あずさ	きむら あずさ	女	山形大学	4
10	後藤 俊	ごとう しゅん	男	宮城教育大学	4
11	齋藤 陽介 (副団長)	さいとう ようすけ	男	東北大学	4
12	坂本 奈央	さかもと なお	女	東北大学	2
13	佐藤 愛衣	さとう めい	女	宮城学院女子大学	3
14	菅野 恵	すがの めぐみ	女	宮城学院女子大学	2
15	多賀野 惇久	たがの あつひさ	男	宮城教育大学	1
16	武田 小百合	たけだ さゆり	女	宮城教育大学	2
17	田崎 帆乃実	たざき ほのみ	女	宮城大学	2
18	常木 綾子	つねき あやこ	女	東北生活文化大学	2
19	中嶋 灯奈	なかしま ていな	女	東北大学	3
20	橋元 絢香	はしもと あやか	女	宮城学院女子大学	1
21	服部 麻衣	はっとり まい	女	東北大学	2
22	林 高大 (団長)	はやし たかひろ	男	東北大学	4
23	邊見 ふゆみ	へんみ ふゆみ	女	東北大学	2
24	星 寿寿美	ほし すずみ	女	仙台白百合女子大学	4
25	森田 悠記子	もりた ゆきこ	女	東北大学	4
26	山内 崇寛 (副団長)	やまうち たかひろ	男	宮城教育大学	4
27	吉原 友梨	よしはら ゆり	女	東北学院大学	2
28	渡邊 成	わたなべ じょう	男	宮城教育大学	2
29	渡邊 麻衣	わたなべ まい	女	仙台大学	4

□サポーター

1	速水 邦晃	はやみ くにあき	男	東北大学	2
2	西澤 良香	にしざわ よしか	女	東北学院大学	4

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属 ・ 備 考
1	佐藤 剛	さとう たけし	男	(公財)仙台国際交流協会企画事業課長 2/24以降参加
2	赤坂 恵利加	あかさか えりか	女	(公財)仙台国際交流協会企画事業課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	黄柏宗	男	5	葉家希	男
2	許瑞英	女	6	鄭宇傑	男
3	揚馨芳	女	7	劉哲佑	男
4	李佳穎	女			

平成25年(2013年)2月 第4回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	場所	時間	行程	宿泊先
1	2/21(木)	仙台	13:30	仙台空港集合	樹谷会館
		仙台-台北 台北-台南 台南市	16:15-18:55 21:21-22:43 23:50頃	仙台空港⇒台北桃園空港 桃園駅⇒台南駅(台湾新幹線) 台南駅⇒樹谷会館	
2	2/22(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生との交流(仙台紹介)、樹谷の案内 古跡-安平古堡	樹谷会館
			午後	昼食(安平老街・台湾式屋台) 古跡-赤崁樓+武廟 成功大学訪問 夕食(小籠包)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	2/23(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 後壁区青寮へ移動 米食DIY(粽を作る) 農村生活体験+菁寮老店巡り 昼食(自分で作った粽を味わう)	樹谷会館
			午後	古跡-孔子廟、日本式の建物 台湾の茶道(奉茶-十八毛にて)	
			夜	花園夜市、夕食	
4	2/24(日)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム 樹谷科学館見学	樹谷会館
			午後	昼食(樹谷会館) 日本文化PR	
			夜	正統鹿耳聖母廟の花火大会	
5	2/25(月)	台南市	午前	朝食 移動	信義郷望美村 兀瑪斯民宿
		南投県 (ブヌン族の村)	午後	昼食(先住民のオリジナル料理) 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 夕食(先住民のオリジナル料理)	
			夕食後	先住民パーティー	
6	2/26(火)	南投県 (ブヌン族の村)	午前	朝食 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 昼食(先住民のオリジナル料理)	樹谷会館
		台南市	午後	羅娜國小学校を訪問、合唱を聴く 移動	
			夕食後	夕食(樹谷会館) 感謝カード作り	
7	2/27(水)	台南市	午前	大洲地区-朝食DIY、生態地区の建設 奇美博物館 昼食(社員食堂)	中壠中信大飯店 (ホテル)
		台南-台北	午後	移動、途中、安平近くの砂浜で遊ぶ お別れ交流会 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	2/28(木)	台北市 台北-仙台 仙台空港	10:05-14:15 15:15頃	朝食 桃園空港⇒仙台空港 解散	

第5回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男10名、女16名 計26名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	赤間 汐理	あかま しおり	女	東北学院大学	2
2	阿部 耕大	あべ こうだい	男	東北大学	1
3	伊丹 昇平	いたみ しょうへい	男	東北福祉大学	3
4	岩原 春香	いわはら はるか	女	仙台高等専門学校	4
5	上野 蒼太	うえの そうた	男	東北工業大学	2
6	遠藤 裕香	えんどう ゆか	女	宮城教育大学	3
7	大土 将皓 (団長)	おおど まさひろ	男	東北文化学園大学	4
8	岡田 沙織 (副団長)	おかだ さおり	女	宮城大学	1
9	加藤 厚菜	かとう あつな	女	東北学院大学	2
10	加藤 郁美	かとう いくみ	女	宮城教育大学	3
11	加藤 光	かとう ひかる	男	仙台大学	1
12	鴻野 美和子	こうの みわこ	女	宮城教育大学	3
13	今 絢子	こん あやこ	女	東北福祉大学	1
14	齋藤 睦	さいとう むつみ	男	東北大学	2
15	佐々木 明	ささき さやか	女	宮城学院女子大学	1
16	庄司 晴香	しょうじ はるか	女	尚綱学院大学	1
17	菅原 恭平 (副団長)	すがわら きょうへい	男	宮城教育大学	2
18	手塚 大介	てづか だいすけ	男	東北薬科大学	4
19	豊田 亜美	とよた つぐみ	女	東北学院大学	2
20	野笹 友	のざさ ゆう	男	東北大学	2
21	長谷川 侑美	はせがわ ゆみ	女	宮城教育大学	3
22	埴 絢佳	はなわ あやか	女	宮城教育大学	3
23	古市 悠夏	ふるいち ゆか	女	東北福祉大学	2
24	八木沼 賢悟	やぎぬま けんご	男	宮城教育大学	2
25	八巻 幸子	やまき さちこ	女	東北学院大学	1
26	渡邊 加純	わたなべ かすみ	女	仙台白百合女子大学	2

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	須藤 伸子	すどう のぶこ	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課課長補佐兼企画係長
2	川合 朋子	かわあい ともこ	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No	名 前	性 別
1	葉乃萱	女	5	林忠宏	男
2	謝孟蓁	女	6	陳振庭	男
3	侯于雯	女	7	吳柏霖	男
4	陳昱如	女	8	韓安和	男

平成26年(2014年)2月 第5回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	2/20(木)	仙台	7:15	仙台駅集合	
		仙台-東京 東京-成田 成田-台北 台北-台南	7:41-9:35 10:03-10:54 13:20-16:20	仙台駅⇒東京駅(新幹線) 東京駅⇒成田空港第2ターミナル 成田空港⇒桃園空港(台北) 桃園駅⇒台南駅(台湾新幹線)	
		台南市	19:30頃着	台南駅⇒樹谷会館	樹谷会館
2	2/21(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡 昼食 安平老街(台湾式屋台)	樹谷会館
			午後	台湾茶道体験 古跡-孔子廟 夕食(小龍包)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	2/22(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム 後壁区菁寮へ移動 菁寮老店巡り 昼食 粽	ホームステイ (高雄市その他)
			午後	仙台PRイベント準備時間 仙台PRイベント ホームステイ先へ移動	
		高雄市その他	夜	ホームステイ	
4	2/23(日)	高雄市その他	朝	ホームステイ	樹谷会館
		高雄市	日中	高雄で自由行動 (各自が計画)	
			台南市	17:00 夜	
5	2/24(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 移動	信義郷望美村 兀瑪斯民宿
		南投県 (ブヌン族の村)	午後	昼食(先住民のオリジナル料理) 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 夕食(先住民のオリジナル料理)	
			夕食後	先住民パーティー	
6	2/25(火)	南投県 (ブヌン族の村)	午前	朝食 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 東埔小学校を訪問・交流 昼食(先住民オリジナル料理)	樹谷会館
		台南市	午後	移動、樹谷会館着後自由 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	活動の感想交流・感謝カードを作る	
7	2/26(水)	台南市	午前	大洲地区 朝食DIY 移動 海	新店中信商務会館(ホテル)
			午後	昼食(樹谷会館)、交流会準備 お別れ交流会	
		台南-台北	夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	2/27(木)	台北-成田 東京-仙台 仙台	8:10-12:20 13:20-19:20 19:20頃	桃園空港⇒成田空港 成田空港⇒仙台駅(専用バス) 解散	

第6回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男3名、女23名 計26名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	阿部 珠希	あべ たまき	女	仙台東高等学校	2
2	天野 桃花	あまの ももか	女	仙台二華高等学校	1
3	一ノ瀬 幸帆	いちのせ ゆきほ	女	仙台育英学園高等学校	1
4	大條 瑞希 (副団長)	おおえだ みずき	女	常盤木学園高等学校	3
5	木下 黎泉	きのした れい	男	東北学院榴ヶ岡高等学校	1
6	栗原 佑果	くりはら ゆうか	女	宮城野高等学校	1
7	今野 有香	こんの ありか	女	仙台育英学園高等学校	3
8	今野 若奈	こんの わかな	女	仙台南山高等学校	2
9	齋藤 菜々子	さいとう ななこ	女	仙台白百合学園高等学校	2
10	佐々木 絵理	ささき えり	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
11	佐藤 華織	さとう かおり	女	常盤木学園高等学校	2
12	佐藤 健伍 (副団長)	さとう けんご	男	泉高等学校	2
13	佐藤 凧紗	さとう なぎさ	女	仙台育英学園高等学校	1
14	佐藤 広崇	さとう ひろたか	男	仙台第三高等学校	1
15	中鉢 萌寧 (団長)	ちゅうばち もね	女	東北学院榴ヶ岡高等学校	1
16	中澤 恵	なかざわ めぐみ	女	仙台白百合学園高等学校	2
17	中野 百紅	なかの ももこ	女	仙台白百合学園高等学校	3
18	蜂谷 麻衣	はちや まい	女	仙台第三高等学校	2
19	日野 友香	ひの ともか	女	尚綱学院高等学校	2
20	平山 りの	ひらやま りの	女	常盤木学園高等学校	1
21	三浦 梓香	みうら あすか	女	仙台育英学園高等学校	3
22	安田 愛	やすだ あい	女	仙台第三高等学校	1
23	山内 乃子	やまうち のこ	女	仙台白百合学園高等学校	2
24	山本 蒔	やまもと ふき	女	仙台第二高等学校	1
25	和田 遥花	わだ はるか	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
26	渡邊 絢香	わたなべ あやか	女	仙台東高等学校	2

□サポーター

1	菊地 佑香	きくち ゆか	女	宮城学院女子大学	2
2	渡邊 成	わたなべ じょう	男	宮城教育大学	3

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	菊池 哲佳	きくち あきよし	男	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係
2	ラムジー夏希(旧姓:熊田)	らむじー なつき	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	高廷瑀	男	5	周彤	女
2	李翌慈	女	6	楊以琳	女
3	柯廷瑜	女	7	吳思慧	女
4	黃智偉	男	8	吳柏霖	男

平成26年(2014年)3月 第6回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	3/23(日)	仙台 仙台-台北 台北-台南	13:30 16:15-19:30 20:30-24:00	仙台空港集合 仙台空港⇒桃園空港 桃園空港⇒樹谷会館(専用バス)	樹谷会館
2	3/24(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡	樹谷会館
			午後	昼食 安平老街(台湾式屋台) 古跡-赤崁樓 古跡-孔子廟 夕食(小龍包)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	3/25(火)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) ボランティア活動(障害者福祉施設)	樹谷会館
			午後	昼食DIY 成功大学キャンパス巡り 台南市 自由行動	
4	3/26(水)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 移動	信義郷地利村 民宿
		南投県 (ブヌン族の村)	午後	昼食(客家の伝統料理) 南投県信義郷へ移動 羅娜國小学校訪問・交流 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 夕食(先住民のオリジナル料理)	
			夕食後	先住民パーティ	
5	3/27(木)	南投県 (ブヌン族の村)	午前	朝食 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験	樹谷会館
		台南市	午後	昼食(先住民のオリジナル料理) 移動	
			夕方	花園夜市	
6	3/28(金)	台南市	午前	朝食 烏山頭ダム 後壁区青寮へ移動 菁寮老店巡り+粽DIY	樹谷会館
			午後	昼食(粽) 台湾茶道体験 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	活動の感想、交流・感謝カードを作る	
7	3/29(土)	台南市	午前	朝食 大洲地区 海	新店中信商務会 館(ホテル)
			午後	昼食、交流会準備 お別れ交流会 夕食(樹谷会館)	
		台南-台北	夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	3/30(日)	台北-羽田 羽田-仙台 仙台	7:30-11:15 12:00-17:00 17:00頃	松山空港⇒羽田空港 羽田空港⇒仙台駅(専用バス) 解散	

第7回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男8名、女23名 計31名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	石黒 利奈	いしぐろ りな	女	福島大学	1
2	伊藤 美由希	いとう みゆき	女	東北学院大学	3
3	氏家 由希子 (団長)	うじいえ ゆきこ	女	山形大学	1
4	大石 亜美	おおいし あみ	女	東北大学	3
5	小山 穂奈美	おやま ほなみ	女	東北福祉大学	3
6	梶谷 梨帆	かじや りほ	女	東北大学	2
7	木村 彩希	きむら さき	女	東北福祉大学	3
8	日下 純	くさか じゅん	女	尚綱学院大学	3
9	栗原 舞	くりはら まい	女	東北大学	3
10	小泉 湧多	こいずみ ゆうた	男	東北工業大学	3
11	佐伯 真実 (副団長)	さえき まみ	女	東北大学	1
12	佐々木 菜摘	ささき なつみ	女	宮城教育大学	3
13	下川原 真子	しもかわら まこ	女	宮城大学	4
14	白鳥 沙也香	しろとり さやか	女	東北大学	3
15	菅原 沙友紀	すがわら さゆき	女	東北福祉大学	3
16	鈴木 あゆみ	すずき あゆみ	女	宮城大学	3
17	鈴木 翔吾	すずき しょうご	男	仙台大学	3
18	高橋 唯	たかはし ゆい	女	東北学院大学	3
19	高林 佳稀	たかばやし よしき	男	仙台高等専門学校	4
20	立花 理砂	たちばな りさ	女	東北学院大学	3
21	蓼沼 阿由子	たでぬま あゆこ	女	東北大学	2
22	徳永 匡臣	とくなが まさおみ	男	東北大学	1
23	長岡 佑紀 (副団長)	ながおか ゆうき	男	東北大学	3
24	長瀬 華奈	ながせ かな	女	宮城学院女子大学	3
25	芳賀 真	はが ただし	男	東北福祉大学	4
26	兵藤 一真	ひょうどう かずま	男	聖和学園短期大学	2
27	古屋敷 美央	ふるやしき みお	女	宮城学院女子大学	2
28	堀籠 莉奈	ほりごめ りな	女	宮城学院女子大学	2
29	真壁 優	まかべ ゆう	女	仙台白百合女子大学	1
30	横字 史年	よこじ ふみとし	男	東北大学	1
31	吉野 日奈子	よしの ひなこ	女	宮城教育大学	1

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	守 修一	もり しゅういち	男	(公財)仙台国際交流協会副理事長
2	川合 朋子	かわあい ともこ	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性別	No.	名 前	性別
1	吳柏霖	男	5	黃憶忻	女
2	邱科瑛	女	6	鄭可櫻	女
3	許菡芸	女	7	謝其湘	男
4	游方萱	女			

平成26年(2014年)8~9月 第7回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	8/28(木)	仙台 仙台-台北 台北-台南	13:30 16:15-18:55 23:00頃着	仙台空港集合 仙台空港⇒台北桃園空港 桃園空港⇒樹谷会館(専用バス)	樹谷会館
2	8/29(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡 (同行職員は、義援提供のため高雄市政府訪問)	樹谷会館
			午後	昼食 安平老街 台湾茶道体験 夕食(小龍包)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	8/30(土)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム 菁寮地区(粽作り、雑草取り、街歩き)	ホームステイ (台南市、高雄市)
			午後	昼食 古跡-赤崁樓 古跡-孔子廟	
		台南市、高雄市	夕方	ホームステイ先へ移動 ホームステイ	
4	8/31(日)	台南市、高雄市	日中	ホストファミリーとともに自由行動	樹谷会館
		台南市	夕方	高雄駅/台南駅に集合 花園夜市、夕食	
5	9/1(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) ボランティア活動(障害者福祉施設) 昼食(樹谷会館)	先住民の村
		屏東県 (パイワン族の村)	午後	移動 先住民(排湾=パイワン族)の文化体験 夕食(先住民オリジナル料理)	
			夕食後	先住民パーティー	
6	9/2(火)	屏東県 (パイワン族の村)	午前	朝食 先住民(排湾=パイワン族)の文化体験	樹谷会館
			午後	昼食(先住民オリジナル料理) 泰武郷武潭国民小学校訪問・交流 移動 夕食(樹谷会館)	
		台南市	夕食後	活動の感想交流・感謝カードを作る	
7	9/3(水)	台南市	午前	朝食 大洲地区の見学 奇美博物館の見学 海	新店中信商務会館(ホテル)
			午後	昼食(樹谷会館)、交流会準備 お別れ交流会 夕食	
		台南-台北	夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	9/4(木)	台北市 台北-仙台 仙台	6:00-7:00 10:05-14:15 15:15頃	ホテルから空港へ移動 桃園空港⇒仙台空港 解散	

第8回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男9名、女22名 計31名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	秋山 恭一	あきやま きょういち	男	東北大学	3
2	池田 隼人	いけだ はやと	男	東北大学	2
3	石井 遥香	いしい はるか	女	東北福祉大学	1
4	石川 理那	いしかわ りな	女	東北福祉大学	1
5	伊藤 明日香	いとう あすか	女	東北福祉大学	1
6	内海 百花	うつみ ももか	女	宮城大学	2
7	大井 あやめ	おおい あやめ	女	東北学院大学	3
8	大友 麻衣	おおとも まい	女	宮城学院女子大学	2
9	木村 美早姫	きむら みさき	女	仙台白百合女子大学	3
10	小林 祐佳	こばやし ゆか	女	宮城教育大学	2
11	佐々木 哲史	ささき さとし	男	東北大学	1
12	佐々木 結恵	ささき ゆめ	女	宮城学院女子大学	3
13	佐藤 愛	さとう あい	女	東北学院大学	4
14	白椋 美子	しらかば みこ	女	宮城教育大学	2
15	鈴木 絵理奈	すずき えりな	女	東北福祉大学	2
16	鈴木 美緒	すずき みお	女	東北生活文化大学	1
17	鈴木 里緒	すずき りお	女	山形大学	2
18	高橋 千明	たかはし ちあき	女	宮城学院女子大学	2
19	徳永 航平	とくなが こうへい	男	東北大学	3
20	土佐 克也	とさ かつや	男	宮城教育大学	3
21	内藤 詩音	ないとう しおん	男	東京法律専門学校仙台校	1
22	中村 玲奈	なかむら れいな	女	東北福祉大学	4
23	舟山 優也	ふなやま ゆうや	男	東北工業大学	1
24	古舘 愛美	ふるだて まなみ	女	東北学院大学	2
25	堀江 猛 (団長)	ほりえ たけし	男	東北学院大学	3
26	丸山 佳晃	まるやま よしあき	男	東北大学	4
27	三浦 靖世	みうら やすよ	女	東北学院大学	1
28	都澤 和可	みやこざわ わか	女	東北学院大学	3
29	横澤 優美	よこさわ ゆみ	女	宮城教育大学	2
30	吉田 夏海	よしだ なつみ	女	東北学院大学	2
31	吉野 佳歩 (副団長)	よしの かほ	女	宮城教育大学	3

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	堀野 正浩	ほりの まさひろ	男	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係
2	ラムジー夏希(旧姓:熊田)	らむじー なつき	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No.	名 前	性 別
1	黃智偉	男	5	陳伊雯	女
2	郭育志	男	6	王憶霖	女
3	呂珮安	女	7	陳易襄	女
4	葉芳華	女	8	吳柏霖	男

平成27年(2015年)2~3月 第8回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	2/26(木)	仙台 仙台-東京 東京-成田 成田-台北 台北-台南	7:50 8:33-10:16 11:03-11:57 14:00-17:05 23:00頃着	仙台駅集合 仙台駅⇒東京駅(新幹線) 東京駅⇒成田空港第1ターミナル 仙台空港⇒桃園空港 桃園空港⇒樹谷会館(専用バス)	樹谷会館
2	2/27(金)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡	樹谷会館
			午後	昼食 安平老街(台湾式屋台) 台湾茶道体験 3グループに分かれて行動 夕食(小籠包)	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	2/28(土)	台南市	朝	朝食(樹谷会館)	ホームステイ (台南市/高雄市)
		台南市/高雄市	日中	ホームステイ先へ移動 ホストファミリーと自由行動	
4	3/1(日)	台南市/高雄市	朝	朝食(ホームステイ先)	樹谷会館
		台南市	午前	台南駅集合 PRブース準備 昼食(樹谷会館)	
			午後	PRブース準備 日本文化PRブース	
			夜	花園夜市	
5	3/2(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 烏山頭ダム 昼食(粽)	屏東県潮州鎮 摘星山莊
		屏東県 (パイワン族の村)	午後	屏東県泰武郷へ移動 原郷國小学校訪問・交流 夕食(先住民のオリジナル料理)	
			夕食後	先住民(排湾=パイワン族)との交流パーティ 宿泊先に移動	
6	3/3(火)	屏東県 (パイワン族の村)	午前	朝食 屏東県来義郷へ移動 先住民(排湾=パイワン族)の文化体験	樹谷会館
		台南市	午後	昼食(客家料理) 奇美博物館の見学 夕食(樹谷会館)	
			夕食後	活動の感想・感謝カードを作る	
7	3/4(水)	台南市	午前	朝食 大洲地区の見学 海	新店中信商務会 館(ホテル)
			午後	昼食(樹谷会館)、交流会準備 お別れ交流会 夕食(樹谷会館)	
		台南-台北	夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	3/5(木)	台北市 台北-仙台 仙台	10:15-14:15 15:00頃	ホテルから空港へ移動 桃園空港⇒仙台空港 解散	

第9回台南市青少年訪問団参加者名簿

□団員 男6名、女21名 計27名

No	名 前	ふりがな	性別	学 校 名	学年
1	阿部 楓香	あべ ふうか	女	聖ドミニコ学院高等学校	2
2	遠藤 佑香	えんどう ゆか	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
3	大友 沙紀 (副団長)	おおとも さき	女	宮城県仙台第一高等学校	1
4	大友 椎菜	おおとも しいな	女	宮城県仙台二華高等学校	2
5	小田 創	おだ はじめ	男	宮城県仙台第二高等学校	3
6	貝森 政仁	かいもり まさひと	男	仙台市立仙台高等学校	3
7	加藤 未央	かとう みお	女	宮城県仙台東高等学校	2
8	桐田 梨生	きりた りお	女	仙台白百合学園高等学校	2
9	久村 理子	くむら りこ	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	1
10	黒田 弥佑	くろだ みゆ	女	学校法人南光学園東北高等学校	1
11	後藤 隆太	ごとう りゅうた	男	国立仙台高等専門学校	2
12	小湊 美穂	こみなと みほ	女	国立仙台高等専門学校	2
13	今野 智子	こんの ともこ	女	宮城県仙台二華高等学校	2
14	佐藤 怜美	さとう れいみ	女	宮城県仙台二華高等学校	1
15	設楽 悠太	しだら ゆうた	男	仙台市立仙台青陵中等教育学校	4
16	庄子 茉弥	しょうじ まや	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	2
17	菅原 理花	すがわら りか	女	宮城県仙台二華高等学校	1
18	大道寺 真名(副団長)	だいどうじ まな	女	宮城県仙台東高等学校	3
19	高橋 杏佳	たかはし きょうか	女	東北学院榴ヶ岡高等学校	2
20	田口 諒 (副団長)	たぐち りょう	男	東北生活文化大学高等学校	1
21	田辺 萌	たなべ もえ	女	尚絅学院高等学校	2
22	冨田 利玖 (団長)	とみた りく	男	聖ウルスラ学院英智高等学校	2
23	本田 美咲	ほんだ みさき	女	尚絅学院高等学校	2
24	増山 ゆい	ますやま ゆい	女	宮城県仙台二華高等学校	1
25	森 美咲	もり みさき	女	宮城県仙台三桜高等学校	1
26	山本 菜摘	やまもと なつみ	女	宮城県仙台第二高等学校	1
27	鎌水 葉奈	やりみず はな	女	宮城県仙台二華高等学校	1

□サポーター

1	氏家 由希子	うじいえ ゆきこ	女	山形大学	1
2	長岡 佑紀	ながおか ゆうき	男	東北大学	3

□同行職員

No	名 前	ふりがな	性別	所 属
1	二本柳 基	にほんやなぎ もとい	男	(公財)仙台国際交流協会常務理事兼事務局長
2	川合 朋子	かわあい ともこ	女	(公財)仙台国際交流協会総務企画課企画係

□台南サポーター

No	名 前	性 別	No	名 前	性 別
1	李佳穎	女	5	張琦	女
2	邱奕軒	男	6	何松俊	男
3	葉佳宜	女	7	吳柏霖	男
4	楊淳方	女			

平成27年(2015年)3月 第9回台南市青少年訪問団日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	3/22(日)	仙台 仙台-台北 台北-台南	13:30 16:15-18:55 24:00頃着	仙台空港集合 仙台空港⇒桃園空港 桃園空港⇒樹谷会館(専用バス)	樹谷会館
2	3/23(月)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) 学生同士の交流&樹谷の案内 古跡-安平古堡	樹谷会館
			午後	昼食 安平老街 台湾茶道体験 古跡-孔子廟 夕食(小籠包) 台日交流パーティー	
			夕食後	台日交流パーティー	
3	3/24(火)	台南市	午前	朝食(樹谷会館) ボランティア活動(障害者福祉施設)	樹谷会館
		高雄市	午後	昼食(樹谷食堂) 移動 樹人高校(高雄市)訪問・交流 移動	
			台南市	夕方	
4	3/25(水)	台南市	午前	朝食 奇美博物館の見学、昼食(お弁当) 移動	先住民の村
		南投県 (ブヌン族の村)	午後	南投県信義郷望郷 先住民(布農=ブヌン族)の文化体験 夕食(先住民オリジナル料理) 先住民パーティー	
			夕食後	先住民パーティー	
5	3/26(木)	南投県 (ブヌン族の村)	午前	朝食 羅娜國小学校訪問・交流 昼食(客家料理)	樹谷会館
		台南市	午後	移動 台湾鉄道 - 車埕見学 移動	
			夜	花園夜市、夕食	
6	3/27(金)	台南市	午前	朝食 移動 烏山頭ダム 昼食(ちまき)	樹谷会館
			午後	移動 關子嶺(泥温泉) 移動 夕食(樹谷食堂)	
			夕食後	お別れ交流会の準備	
7	3/28(土)	台南市	午前	朝食 大洲地区の見学 海	新店中信商務会館(ホテル)
		台南-台北	午後	昼食(樹谷食堂)、お別れ交流会準備 お別れ交流会 夕食(樹谷食堂)	
			夕食後	台南駅⇒桃園駅(台湾新幹線)	
8	3/29(日)	台北市 台北-仙台 仙台	10:05-14:15 15:15頃	ホテルから空港へ移動 桃園空港⇒仙台空港 解散	

平成 27 年(2015 年)8 月 台南市青少年交流記念事業 来仙者名簿

□団員 男3名、女 13 名 計 16 名

	名 前	ニックネーム	期	性別	所属
1	李依柔(LI,YI-JOU)	ベラ	1期	女	文藻外国語大学
2	黃楷婷(HUANG,KAI-TING)	カイティン	1期	女	千代外語語学学校
3	李佳穎(LI,CHIA-YING)	カニ	4～9期	女	文藻外国語大学
4	謝孟蓁(HSIEH,MENG-CHEN)	はるみ	5期	女	國立高雄師範大學
5	楊以琳(YANG, I-LIN)	ひとみ	6期	女	文藻外国語大学
6	李翌慈(LI,YI-CIH)	キノコ	6期	女	南台科技大学
7	邱科瑛(CHIU,KE-YING)	みお	7期	女	文藻外国語大学
8	許茵芸(HSU,HAN-YUN)	はるか	7期	女	文藻外国語大学
9	黃智偉(HUANG,CHIH-WEI)	しょーた	6～8期	男	文藻外語大學
10	葉芳華(YEH,FANG-HUA)	かか	8期	女	東海大学
11	葉佳宜(YEH,CHIA-I)	いえいえ	9期	女	淡江大學
12	吳柏霖(WU,BO-LIN)	はくりん	5～9期	男	南台大学
13	葉乃萱(YEH,NAI-HSUAN)	せんちゃん	5期	女	國立政治大學
14	何松俊(Ho,SUNG-CHUN)	しょう	9期	男	成功大學
15	侯于雯(HOU,YU-WEN)	ブンブン	5期	女	國立屏東商業技術學院
16	游方萱(Yu,FANG-HSUAN)	ゆうな	7期	女	國立台中科技大學

□同行職員

17	徐香華(HSU,HSIANG-HUA)	Grace	Staff	女	奇美集團
18	陳又銘(CHEN,YU-MING)	Andy	Staff	男	

平成 27 年(2015 年)8 月 台南市青少年交流記念事業 日程

日次	日にち	都市	時間	行程	宿泊先
1	8/2(日)	台北	10:05	桃園空港発	ホスト ファミリー宅
		台北→仙台	14:35	仙台空港着	
		仙台	15:30-17:00	仙台空港→仙台国際センター	
			17:10	オリエンテーション、歓迎交流会、ホストファミリーと対面 (仙台国際センター)	
			18:30	解散	
2	8/3(月)	仙台	10:00	仙台国際センター集合、出発	ホスト ファミリー宅
		名取	11:00	小野愛さん墓参、東日本大震災被災地見学(関上)	
			12:30	昼食(ゆりあげ港朝市メイプル館)	
			14:00	名取市出発	
		仙台	15:00	仙台城跡	
			16:00	瑞鳳殿	
17:40	仙台国際センター到着、ミーティング、解散				
3	8/4(火)	仙台	9:30-10:30	仙台駅集合、朝市見学	ホスト ファミリー宅
		松島・塩釜・ 仙台	10:30-18:30	3グループに分かれて、松島・塩釜・仙台市内観光	
		仙台	18:30 20:00	仙台駅集合、AER(PRブース展示場所)下見 解散	
4	8/5(水)	仙台	—	ホストファミリーと市内観光など	ホスト ファミリー宅
			14:00	AER集合、PRブースの設営(AER)	
			15:00	PRブース、台南副市長との交流会、「感謝のつどい」準備・打合せ(仙台観光国際協会事務所)	
			17:00	浴衣の着付け	
			19:00-	花火大会鑑賞	
			21:00	仙台観光国際協会事務所集合、解散	
5	8/6(木)	仙台	9:30	PRブース準備(AER) PRブース用のタピオカを準備(エルパーク仙台)	ホスト ファミリー宅
			10:30-17:00	台湾・台南PRブース出展 1日目(AER)	
			15:00-15:45	台南市副市長との交流会(ヒューモスファイヴ)	
			17:00	PRブース片づけ、Kobo スタ宮城へ移動	
			18:00	野球観戦(Kobo スタ宮城)	
			20:30	解散	
6	8/7(金)	仙台	9:30	AER集合	ホスト ファミリー宅
			10:00-13:00	台湾・台南PRブース出展 2日目(AER)	
			13:00	PRブース片づけ	
			14:30	「感謝のつどい」設営(エルパーク仙台)	
			15:30	「感謝のつどい」準備(仙台観光国際協会事務所)	
			19:00	解散	
7	8/8(土)	仙台	9:00	エルパーク仙台集合	ホスト ファミリー宅
			11:00	「感謝のつどい」(エルパーク仙台)	
			13:30	片づけ、解散	
8	8/9(日)	仙台	14:00	仙台空港集合	
		仙台→台北	22:15	仙台空港発 ※台風による影響で 16:05 仙台空港出発が遅延。	

第 1 回訪問團



第 2 回訪問団



第3回訪問團



第4回訪問団



第5回訪問團



第6回訪問団



第7回訪問團



第8回訪問団



第9回訪問團



青少年交流記念事業(2015年8月)

被災地を訪ねて(閑上)



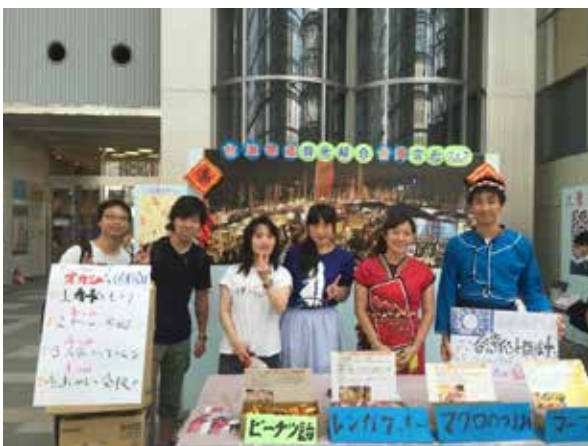
仙台と松島を楽しむ



感謝のつどい



仙台七夕まつりでの台南PRブース



日本台湾学会シンポジウムと交流会(2015年5月)



台湾・台南市 仙台支援に力

06年の協定締結が縁

台湾の台南市が東日本大震災後、仙台市への支援に力を入れている。2006年に仙台市と交流促進協定を結んだ台南市からの寄付金は総額1億3700万円に上り、同市ゆかりの台湾企業の出資で仙台市の青少年が現地を訪問する3カ年のプロジェクトも始動した。関係者は「海外からの温かな支援は復興を強く後押しする」と喜んでいる。

◆ 台南市は昨年4月、政治家や芸能人も参加したチャリティイベントで集めた1億700万円を仙台市に贈呈した。伊藤敬幹副市長が3月中旬、返礼のため訪問した際には、市民からの寄付金として、さらに3000万円を提供した。

台南市からの寄付の総額

寄付金総額 1億3700万円

は、仙台市に寄せられた1993件、計約19億6400万円の中でもトップクラス。伊藤副市長は「国内外で震災の記憶が時間とともに薄れていく中、息の長い支援を続けてもらえるのありがたい」と感謝する。

台南市発祥の台湾財閥の一つ、奇美グループは1400万円を仙台国際交流協会に寄付した。浄財は今後3年間で9回、計300人の青少年を台南に招待する事業に使われる。伝統文化体験や施設見学に加え、現地学生との交流の機会を設ける計画だ。

初回の訪問ツアーは2月16〜26日にあり、公募の大学生30人が参加した。訪問団長を務めた仙台高専4年の阿部晋士さん(20)は「台湾の人々が今も親

青少年交流事業も始動

身になって被災地を心配してくれていることに感動した。復興に向けて頑張ろうとの思いを強くした」と振り返る。

2回目の訪問ツアーは8月に出発する。高校生向けと、大学生・専門学校生向けの2コースあり、定員は各25人程度。7泊8日で、自己負担額は約3万円。募集は4月16日に締め切り、書類と面接で選考する。連絡先は仙台国際交流協会022(265)2480。



仙台と台湾の学生らが交流を深めた台南市青少年訪問ツアー



台南市青少年訪問團 報告書

編集・発行 公益財団法人仙台観光国際協会(旧：仙台国際交流協会)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 仙台青葉ウイングビルA棟11階
TEL: 022-268-6260 FAX: 022-268-6252
E-mail: plan@sentia-sendai.jp HP: <http://int.sentia-sendai.jp>

臺南市青少年訪問團 報告書

編輯・出版 公益財団法人仙台観光國際協會(原：仙台國際交流協會)
郵遞區號980-0804 仙台市青葉區大町2丁目2-10 仙台青葉ウイング大樓A棟11樓
TEL: 81-22-268-6260 FAX: 81-22-268-6252
E-mail: plan@sentia-sendai.jp HP: <http://int.sentia-sendai.jp>